

1. アンケート調査票 (18歳以上の方)

問1. この調査票はどなたが記入されますか。次のうち、あてはまるものをお答えください。(あてはまるもの1つだけ○)

- 1. 本人が記入
- 2. 本人の意見を聞いて、家族などの介助者が記入
- 3. 本人の意見を確認することが難しいので、本人の意向を考慮して家族などの介助者が記入
- 4. 本人の意見を聞いて、事業所や施設職員が記入
- 5. 本人の意見を確認することが難しいので、本人の意向を考慮して事業所や施設職員が記入

1. あなたご自身について

問2-1. あなたがご持ちの手帳・受給者証はどれですか。(あてはまるもの全てに○)

- 1. 身体障害者手帳 → 1級 2級 3級 4級 5級 6級
- 2. 愛の手帳 → 1度 2度 3度 4度
- 3. 精神障害者保健福祉手帳 → 1級 2級 3級
- 4. 自立支援医療受給者証 (精神通院)
- 5. 特定医療費受給者証 (難病医療券)
- 6. その他 ( )

問2-2. あなたの障害者総合支援法に基づく障害支援区分はどれですか。(あてはまるもの1つだけ○)

- 1. 区分1
- 2. 区分2
- 3. 区分3
- 4. 区分4
- 5. 区分5
- 6. 区分6
- 7. 認定を受けていない (非該当の方を含む)
- 8. わからない

問2-3. あなたは、次のうちどれに診断・認定などされていますか。(あてはまるもの全てに○)

- 1. 視覚障がい
- 2. 聴覚・平衡機能障がい
- 3. 音声・言語・そしゃく機能障がい
- 4. 体幹や下肢などの運動機能障がい
- 5. 内臓や感覚機能などの内臓障がい
- 6. 知的障がい
- 7. 精神疾患
- 8. 発達障がい
- 9. 難病
- 10. 高次脳機能障がい
- 11. 強度行動障がい (※1)
- 12. 重度心身障がい (※2)
- 13. その他 ( )

※1 「強度行動障がい」とは、自分の気持ちをうまくコントロールするのが難しく、自分を叩いたり、人を傷つけたり、物を壊してしまったり、自分もまわりの人も困ってしまう行動が多く、特別な気遣いや支援が必要な状態を指します。今回の調査では、「行動関連項目自身の合計点数が10点以上である方」とします。

※2 今回の調査では「重度心身障がい」とは、「本人も、両方にとっても重い障がいがあり、食事や着替えなどでいつも特別な手助けを必要とする方」とします。

インターネット回答用ID : xxxxxxx  
パスワード : xxxxxx  
※全て小文字です

18歳以上の方

「大田区障がい者実態調査」へのご協力をお願い  
日頃から区行政へのご理解、ご協力をいたいただきありがとうございます。

このアンケートは、次期「おおた障がい施策推進プラン」の策定、事業の改善・向上に向けて障がいのある方のご意向を把握するためのものです。

障がいのある方や支援の必要な方の日頃の生活状況や大田区の障がい施策に対するご意見・ご希望などを把握するため、お忙しいところ恐縮ですが、ぜひご協力をお願い申し上げます。

なお、この調査は無記名であり、結果の集計・分析は統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。

令和7年11月 大田区長 鈴木 晶雅

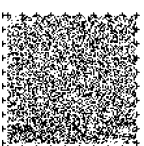
「1. インターネット」か「2. 紙(郵送)」のいずれかでご回答ください。

1. インターネットでご回答される場合  
二次元バーコード等から調査専用サイトへアクセスいただき、最初の  
設問に、このページの左上のシール内にある  
ID・パスワードをご入力の上、**11月30日(日)までにご回答**  
ください。  
URL : <https://smilesurvey.oo/s/d511854a/o>

2. 紙(郵送)でご回答される場合  
この調査票にご回答いただき、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、  
**11月30日(日)までにお近くの郵便ポストに投函**してください。

- ◆ このアンケートは、基本的には宛名のご本人のことでお聞きしています。ご本人がご記入できない場合は、ご本人の立場になって、代理の方がご記入ください。
- ◆ 答えたくない質問については、無理にお答えいただく必要はありません。無理のない範囲でご回答をお願いします。

【お問い合わせ先】  
大田区 福祉部 障害福祉課 障害者支援担当(計画)  
電話 03(5744)1700 (月曜日～金曜日(祝日を除く) 9時～17時)  
FAX 03(5744)1592 E-mail [shoufuku-chousa@city.ota.tokyo.jp](mailto:shoufuku-chousa@city.ota.tokyo.jp)



問3. あなたは、どのような「医療的ケア※」を受けていますか。(あてはまるもの全てに○)

※たんの吸引などの、毎日に行っている医療的ケアのことを、「医療的ケア」と言います。

- 1. 医療的ケアを受けていない
- 2. 人工呼吸器
- 3. 気管内挿管、気管切開
- 4. 鼻咽喉エアウェイ
- 5. 酸素吸入
- 6. 吸引
- 7. ネブライザー(吸入器)使用
- 8. 中心静脈栄養(IVH)
- 9. 経管(経鼻・胃ろう含む)
- 10. 腸ろう・腸管栄養
- 11. 透析
- 12. 定期導尿
- 13. 人工肛門
- 14. その他 ( )

問4. あなたは、介護保険制度で要支援または要介護の認定を受けていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

- 1. 要支援の認定を受けている
- 2. 要介護の認定を受けている
- 3. 受けていない
- 4. 要介護・要支援の認定を受けていたが、今は受けていない(期限切れを含む)

問5. あなたは、どなたと暮らしていますか。(あてはまるもの全てに○)

- 1. 一人暮らし
- 2. 自分の親
- 3. 自分の兄弟姉妹
- 4. 自分の配偶者
- 5. 自分の子ども、またはその配偶者
- 6. 自分の親せき
- 7. 施設(グループホーム、通所療養等)の仲間や職員
- 8. 病院に入院している
- 9. その他 ( )

問6. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

- 1. 大変苦しい
- 2. やや苦しい
- 3. ふつう
- 4. ややゆとりがある
- 5. 大変ゆとりがある
- 6. 苦えられない・苦えたくない

問7. この一年間でコミュニケーションや意思の伝達等においてどのような場面で困りましたか。(あてはまるもの全てに○)

- 1. 相手の話している内容を、正確に理解することが難しかった
- 2. 文書を読み書きすることが難しかった
- 3. 専門用語や手続きの説明が難しく、内容がよく理解できなかった
- 4. 案内表示やアウンスが、わかりにくかった
- 5. 自分の希望や意見、症状等を、正確に伝えることができなかった
- 6. 相手の障がいに対する理解が足りなかった
- 7. その他 ( )
- 8. 特に困ったことはない

問8. 意志の伝達を助けるために、特別な手段や道具や用具等を使っていますか。(あてはまるもの全てに○)

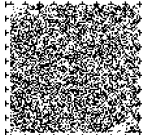
- 1. 必要ではない
- 2. 口話(話し言葉)
- 3. 手話
- 4. 補聴器や人工耳等の補聴機器
- 5. 筆談・装約筆記
- 6. 文字盤
- 7. 点字
- 8. ハズコン
- 9. スマートフォン・タブレット
- 10. 携帯用会話補助装置・発声補助機
- 11. 同行援護
- 12. その他 ( )

## 2. 障害福祉サービス等

問9. 以下A～Jの障害福祉サービス等において、あなたが、「(1)現在利用している」「サービスと、(2)今後利用する予定(今後利用する予定)」のサービスを選んでください。

利用パターン別の回答方法  
 ①現在利用している、今後も利用する ⇒ 「1」「2」ともに○ ②現在利用して今後利用しない ⇒ 「1」だけ○  
 ③現在利用しておらず、今後利用する ⇒ 「2」だけ○ ④現在も今後も利用しない ⇒ ○をつけない

	(1)現在 利用している	(2)今後(も) 利用する予定
A. 自宅での生活支援(ホームヘルプ)等 ヘルパーが自宅を訪問し、入浴や食事などの生活全般を支援します。 (個別サービス名) ○ 居宅介護 ○ 重度訪問介護 ○ 重度障害者等包括支援 ○ 訪問入浴サービス	1	2
B. 外出・移動のサポート 外出に同行し、移動の障壁や危険回避、社会参加のための支援をします。 (個別サービス名) ○ 同行援護 ○ 移動支援事業	1	2
C. 一時預かり(レスパイト) 家族の休意などのため、日中や短期間の預かり支援を行います。 (個別サービス名) ○ 短期入所 ○ 日中一時支援 ○ 在宅レスパイト	1	2
D. 日常生活の支援 日常生活に必要な用具の給付や意思疎通を支える支援を行います。 (個別サービス名) ○ 日常生活用具給付事業 ○ 意思疎通支援事業	1	2
E. 相談支援、サービス等利用計画の作成 サービス利用の計画作成や相談、権利を守るための手続きを支援します。 (個別サービス名) ○ 計画相談支援 ○ 相談支援事業 ○ 成年後見制度利用支援事業	1	2



F. 日中の活動の支援(通所)	(1)現在 利用している	(2)今後(も) 利用する予定
日中に施設へ通い、介護や医療的ケアを提供します。 (個別サービス名) ○生活介護 ○療養介護	1	2

G. 自立のための訓練	(1)現在 利用している	(2)今後(も) 利用する予定
身体機能の回復や生活スキルなど、自立生活のための訓練をします。 (個別サービス名) ○自立訓練(機能訓練) ○自立訓練(生活訓練) ○宿泊型自立訓練	1	2

H. 働くための支援	(1)現在 利用している	(2)今後(も) 利用する予定
就職に必要な訓練、働く場の提供、職場への定着までを支援します。 (個別サービス名) ○就労継続支援(A型) ○就労継続支援(B型) ○就労移行支援 ○就労定着支援	1	2

I. 住み場所の提供と支援	(1)現在 利用している	(2)今後(も) 利用する予定
グループホームや施設で、主に夜間介護を受けながら生活します。 (個別サービス名) ○共同生活援助(グループホーム) ○施設入所支援	1	2

J. 地域で生活するための支援	(1)現在 利用している	(2)今後(も) 利用する予定
施設等から地域へ移り、一人暮らしなどを安定して続ける支援です。 (個別サービス名) ○自立生活援助 ○地域移行支援 ○地域定着支援	1	2

問10. サービスを利用しやすくするために必要だと感じるのは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 特に必要と思うことはない
2. サービス利用に関する決まりや仕組みをわかりやすくすること
3. 自分に合った事業所が選べること
4. 重度の障がいや医療的ケアにも対応できること
5. 使いたいときに使えるように利用できる曜日・時間を増やすこと
6. サービスに携わるスタッフ・人材の知識・技術・意識を高めること
7. サービスを提供している部屋や建物を広くすること
8. 通いやすい場所にサービスを利用できる施設・事業所があること
9. その他 ( )

【問11～15は、障害福祉サービス等を利用されている方にお伺いします。】

問11. 現在、利用しているサービスの満足度について教えてください。(あてはまるもの1つだけ○)

1. 満足している
2. おおよそ満足している
3. 不満である

問12. あなたが現在利用しているサービス事業所を選んだ理由は何か。(あてはまるもの全てに○)

1. 自宅から近いなど、交通アクセスが良かった
2. 送迎があるから
3. 相談支援専門員・医師などにすめられたから
4. 以前から知っていて安心感があったから
5. 知っている利用者や職員がいたから
6. 必要なサービスが受けられるから
7. 提供されているプログラムに魅力を感じたから
8. 就労時等に職員の対応が丁寧・安心だったから
9. 職員の専門性が高いと感じたから
10. 施設の設備環境、雰囲気や印象が良かったから
11. 過去の実績や評判が良かったから
12. 個別のニーズに対応してくれたから
13. 利用料や負担が比較的少なかったから
14. 他に空きがなく、そこだけ利用可能だったから
15. 利用したい曜日や時間帯に空きがあったから
16. その他 ( )

問13-1. あなたが、「障害福祉サービス等」を使いたいと感じたときに、困ったことはどのようなことですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 制度や手続きがわかりにくい
2. 手続きが大変
3. サービスの利用までに時間がかかる
4. 自分に合った事業者が見つからない
5. 事業者から断られた →問13-2へ
6. 金額が高い(経済的負担が大きい)
7. どうやってサービスを探したらいいかわからない
8. 特にない
9. その他 ( )

問13-2. 【問13-1で「事業者から断られた」と回答した方にお伺いします】

事業者から断られた理由について、差し支えない範囲で教えてください。(あてはまるもの全てに○)

1. 医療的ケアが必要のため
2. 本人の活動性が高いため
3. 住所がサービス提供範囲外のため
4. 病状の変動が大きいため
5. 事業所が人材不足のため
6. すでに定員いっぱいであるため
7. 利用日程が合わないため
8. 送迎の対応が難しいため
9. 公的サービスへの対象となっていないため
10. わからない
11. その他 ( )

問14. あなたが現在利用されているサービスに不満はありませんか。不満がある場合は、どのような点ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 不満は特にない
2. 必要なサービスが提供されていない
3. 回数や時間が足りない
4. 使いたいときに使えない(日程などの条件が合わない)
5. 希望するサービスが対象外である
6. サービス情報が不十分だったり取得が難しかった
7. 事業者を選べない
8. 事業所の職員の専門性やスキル等が不足していると感じた
9. 家族との連携がとれていない
10. 他の事業所との連携がとれていない
11. 事業所の設備の環境がよくない
12. 施設が遠い
13. 同じ事業所を継続して使い続けられない
14. 金額が高い(経済的負担が大きい)
15. その他 ( )

問15-1. あなたの障害福祉サービスの利用計画は誰が作成していますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 本人
2. 家族
3. 相談支援事業所
4. 介護保険のケアマネジャー
5. わからない・覚えていない
6. その他 ( )

問15-2. 【問15-1で「1. 本人」「2. 家族」と回答した方にお伺いします】  
計画相談支援を利用しない理由は何か。(あてはまるもの全てに○)

1. 自分が使うサービスは自分で決めたから(計画相談支援が必要だと思わなかったから)
2. 相談支援のサービスは自分で決めたから(計画相談支援が必要だと思わなかったから)
3. 相談支援のサービスがあることを知らなかったから
4. 計画相談支援を利用するための手続きが大変そうだと感じたから
5. 相談支援事業所に断られたから
6. 計画相談支援を利用したことがあるが、自分には合わなかったから
7. 相談支援事業所に自分が求める知識がなかったから
8. 特に理由はない
9. その他 ( )

問16. いずれのサービスも利用していない理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 自分で生活できるから
2. 家族が介助してくれるから
3. 介護保険サービスを利用しているから
4. サービスを知らなかったから
5. 自分がサービスを受けられないから
6. 利用方法がわからないから
7. サービスの内容がよくないから
8. 必要なサービスが提供されていないから
9. サービス以外に(経済的負担が大きい)から
10. 家の近くに施設がないから
11. 家族以外に介助してもらうことに不安があるから
12. 事業者が断られたから
13. 以前利用したがよくなかったから
14. 相談先がわからないから
15. 特に理由はない
16. その他 ( )

3. 情報や相談

問17. 福祉についての情報などを、どのような方法で手に入れていますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 友達・知り合いから
2. 区報、区のホームページ
3. インターネット
4. SNS等
5. 相談支援専門員から
6. 医療機関の相談窓口
7. 障がい者団体や家族会から
8. テレビ、新聞などで
9. その他 ( )

問18. 福祉についての情報などを、手に入れたときに困ったことは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. どのように入ればよいか、どこで相談すればよいかわからなかった
2. ホームページなどの情報量が多すぎて、自分に必要な情報がわからなかった
3. 情報の内容が難しく、理解できなかった
4. 広報紙や窓口で配布されるパンフレットだけでは、内容が不十分と感じた
5. 障がい特性に合った情報提供方法ではなかった(手話、点字、音声読み上げ、やさしい日本語など)
6. 窓口等で必要な情報を説明することが難しい
7. その他 ( )
8. 特に困ったことはなかった

問19. あなたが日常生活で困っていたり、相談したいと思っていることはどのようなことですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 身の回りの介助をしてくれる人のこと
2. 相談できる人がいないこと
3. 移動手段が乏しいこと
4. 就労・就学先が見つからないこと
5. 十分な収入が得られないこと
6. 趣味や生きがいがないこと
7. 生活に必要な情報が得られないこと
8. 病院・診療所や医療サービスのこと
9. 業の管理が難しいこと
10. 障人や地域住民との関係がうまくいかないこと
11. お金の管理が難しいこと
12. 籍がなくなった後のこと
13. 特に困っていることはない
14. その他 ( )

問20-1. いま、あなたが相談できるのは、どのようなところ(人)ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 区役所 (地域福祉課や地域健康課など)
2. 障がい者総合サポートセンター
3. 相談支援事業所
4. 身体障害者相談員、知的障害者相談員、精神障害者相談員
5. 家族・友達・知り合い
6. 福祉施設の職員
7. 医療関係者 (医師・看護師など)
8. 同じ障がいをもつ仲間 (当事者団体等)
9. 自治会・町会や民生委員・児童委員
10. 勤務先 (同僚、上司等)
11. 特にいない
12. その他 ( )

問20-2. 【問20-1 で「1. 区役所（地域福祉課や地域健康課など）」「2. 障がい者総合サポートセンター」

「3. 相談支援事業所」と回答した方にお伺いします】

その相談によって、あなたの悩みや困りごとは解決しましたか。（それぞれにあってはまるもの1つだけ○）

解決した	どちらとも言えない	解決しなかった
1	2	3
1	2	3
1	2	3

問21. 日常生活での困りごとななどを相談しやすくするために、どのようなことが必要だと思いますか。（あってはまるもの全てに○）

1. 身近な場所でも相談できること
2. 相談員が自宅に訪問してくれること
3. 休日や夜間でも相談できること
4. 対応する人が障がい特性を理解していること
5. 専門的な相談や助言ができる人材がいること
6. 同じ障がいをもつ方に相談できること
7. 電話やオンラインで相談できること
8. 手話通訳などのコミュニケーションの支援が充実していること
9. 予約をしなくても話を聞いてもらえること
10. 定期的に相談できること
11. どのような相談にも1か所の窓口で対応して 12. どこで、どんな相談ができるかわかりやすいもらえること
12. どこで、どんな相談ができるかわかりやすい
13. 気軽に相談した方の評価（口コミ）が確認できること
14. その他（ ）
15. 特に必要だと思うことはない

#### 4. 就労や外出

問22-1. あなたは、現在、仕事をしていますか。（あってはまるもの1つだけ○）

1. 仕事をしている（自営業や在宅勤務を含む） ⇒ 問22-2へ
2. 働く練習や社会生活を学ぶために作業などをを行う施設に通っている ⇒ 問22-3へ
3. 現在は仕事をしていない ⇒ 問23へ

問22-2. 【問22-1 で「1. 仕事をしている（自営業や在宅勤務を含む）」と回答した方にお伺いします】

仕事をすることで不安や不満はありますか。（あってはまるもの全てに○）

1. 給料（もたらえるお金）が少ない
2. 仕事が難しい
3. 障がいの重度化や体調不良
4. 相談する人や場所がない
5. 仕事内容が単調（単純）すぎる
6. 職場の人たちとの人間関係が難しい
7. 技能習得や研修等の機会が少ない
8. 障がいへの理解が十分でない
9. トイレなど障がい者用の設備が十分でない
10. 通うのが大変
11. 働く条件や契約の内容に不安がある（雇用契約に期限があるなど）
12. 一般の社員と比べて昇給や昇進に違いがある（なかなか給料（もたらえるお金）が上がらない）
13. 特に不安や不満はない
14. その他（ ）

⇒ 問23へ

問22-3. 【問22-1 で「2. 働く練習や社会生活を学ぶために作業などをを行う施設に通っている」と回答した方にお伺いします】

自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、生活介護などの施設に通う上で、不安や不満はありますか。（あってはまるもの全てに○）

1. 人間関係が難しい
2. 長続きしない
3. 工賃（もたらえるお金）が少ない
4. 場所が遠い
5. 通う手段（バス、電車など）が少ない（通うのが大変）
6. 自分に合った内容のサービスがない（自分に合った作業がない）
7. 成果が出せるか不安（作業や訓練などがうまくできず不安）
8. 特に不安や不満はない
9. その他（ ）

問23. あなたは、障がいのある方が働くためには、特にどのようなことが大切だと思いますか。（あってはまるもの全てに○）

1. 自分の家や、家の近くで働ける
2. 健康状態に合わせて働ける
3. 働くところの紹介や相談が受けられる
4. 職業訓練ができる施設の実
5. 企業（会社）への雇用の働きかけ
6. 職場の人の障がいの理解
7. 障がい者利用に配慮された設備や職場
8. 障がいの程度や能力に応じた仕事の内容
9. 一般の社員並みの賃金
10. 重度の障がいや医療的ケアが必要であっても働けること
11. わからない
12. その他（ ）

問24. ふだん、あなたはどのくらい外に出かけていますか。「(1)通勤・通学・通所等」と「(2)レジャー・余暇等」の目的ごとに教えてください。(それぞれあてはまるもの1つだけ○)

- (1)通勤・通学・通所等
1. ほとんど毎日出かけている
  2. 週に3～4日出かけている
  3. 週に1～2日出かけている
  4. 通勤・通学・通所等はしていない
- (2)レジャー・余暇等
1. ほとんど毎日出かけている
  2. 週に3～4日出かけている
  3. 週に1～2日出かけている
  4. ほとんど出かけていない

**5. 保健・医療**

問25. あなたは、現在、医師の治療(歯科診療を含む)を受けていますか。「(1)障がいに関わること」と「(2)障がい以外のこと」のそれぞれ教えてください。(それぞれあてはまるもの1つだけ○)

- (1)障がいに関わること
1. 定期的に通院している
  2. ときどき通院している
  3. 自宅で訪問看護や往診を受けている
  4. 入院している
  5. 特に治療はしていない
  6. その他( )
- (2)障がい以外のこと
1. 定期的に通院している
  2. ときどき通院している
  3. 自宅で訪問看護や往診を受けている
  4. 入院している
  5. 特に治療はしていない
  6. その他( )

問26. 最後に健康診断(人間ドックを含む)を受けたのはいつですか。(あてはまるもの1つだけ○)

1. この1年以内
2. 1～2年前
3. 3～5年前
4. 5年以上前
5. 受けたことがない(理由: )

問27. あなたは、ご自分の健康や医療のことで、困っていることや不安に感じていることがありますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 障がいの重症化や病気が悪くなる
2. 服薬管理や栄養管理が難しい
3. 障がいがあっても受診しやすい病院がない
4. かかりつけの医療機関や医師がいない
5. 今のかかりつけの医師にいつまで診てもらえるか不安
6. 治療内容の説明がわからない
7. 病院にかかるお金や負担が大きい
8. 障がいを含めた健康状態を相談できる医療機関がない
9. 通院のための介助者がいない(病院と一緒に住ってくれる人がいない)
10. 感染症に対する不安
11. 病院にかかるとこへの心理的な抵抗がある
12. 特にない
13. その他( )

**6. 災害時の対応**

問28. あなたは「ヘルプカード(たすけてねカード)※」を知っていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

※大田区自立支援協議会が障がいのある方の災害対策の一環として作成したカードであり、障がいのある方が災害時や日常の外売での緊急時など困ったときに、手助けを求めることができます。



ヘルプカード  
(たすけてねカード)

1. 持っている・使っている
2. 知っているが、持っていない・使っていない
3. 知らない

ヘルプカード(たすけてねカード)は、障害福祉課や地域福祉課、地域健康課、特別出張所の窓口、障がい者総合サポートセンターでお受け取りいただけます。紙に限りがございますので、事前に在庫状況をお問い合わせください。

問29. あなたは、災害(地震や台風など)のとき、無事かどうかの確認や避難の手助けなどのために作成されている「避難行動要支援者名簿※」を知っていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

※災害時に自ら避難することが難しい「労働行動要支援者」の安全確認や避難支援を迅速に行うため、本人の同意に基づき作成される名簿です。この名簿は、地域の支援者(民生委員や自治会・町会など)と共有され、いざという時に地域で支え合う仕組みづくりに活用されます。

1. 名簿があることを知っており、登録している
2. 名簿があることを知っているが、登録していない
3. 名簿があることを知っているが、登録の仕方がわからない
4. 名簿があることを知らなかった

問30. あなたは、災害(地震や台風など)時に自ら避難することが困難な避難行動要支援者が作成することを推奨されている、「個別避難計画※」を知っており作成していますか。(あてはまるもの1つだけ○)

※災害時に、自ら避難することが困難な要支援者一人一人の状況に合わせて、避難経路等できるよ、あらかじめどのように避難するか、誰が支援するか、どんな配慮が必要かなどを定めておく計画です。

1. 知っており、作成している
2. 知っているが、作成していない
3. 作成する必要がある(作成するつもりがない)
4. 知らなかった

問31. あなたは「マイ・タイムライン※」を知っていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

※風水害の発生に備えて、自身や家族の取るべき行動についていつ、誰が、何をすることを時系列に整理した個人の防災行動計画のことです。

1. 作成の目的を知っている
2. 言葉は知っているが、目的はわからない
3. 言葉も目的も知らない

問32-1. あなたは、災害(台風の被害等含む)が起きた際に、どのような行動(避難など)をすればよいか理解し、備えているか。(あてはまるもの1つだけ○)

1. 理解し、備えている 2. 理解しているが、備えていない 3. 理解しておらず、備えていない  
⇒問32-2へ

問32-2. (問32-1で「1.理解し、備えている」と回答した方にお伺いします)

- どのような備えをされていますか。(あてはまるもの全てに○)
1. 避難計画の策定
  2. 備蓄(食糧や飲み物、薬)
  3. 非常用電源等
  4. 避難所の確認
  5. 地域の支援団体との連携
  6. ヘルプカードの作成
  7. その他〔 〕

問33. あなたが、災害(地震や台風など)があったときに、困ることや不安に思うことは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 自宅での避難の備蓄(食糧や飲み物、薬)や備え(非常用電源、耐震補強等)が不十分
2. 家族と連絡がとれるか不安だ
3. 実際に被害にあったとき、どう行動していいかわからない
4. 避難所(学校避難所、福祉避難所等)を知らない
5. 避難所までひとりで行くことができず、または、避難する途中に不安な場所がある
6. 被害の状況などの情報を手に入れることが難しい
7. 避難所で、スマートフォンなどの設備が半分整っているか、不安だ
8. 避難所で、自分にあった投薬や治療が受けられない
9. 避難所での周りの人の目が気になる
10. 特にない
11. その他〔 〕

## 7. 権利保護

問34-1. 障がいがあることを理由として差別をされたと感じたいやいやな思いをしたことがありますか。あった方はどのような場所や場面でそのようなことがあったか教えてください。(あてはまるもの全てに○)

1. 学校や教育の場面
2. 職場(仕事をしているとき)
3. 公共交通機関や公共施設(駅など)
4. 区役所などの行政機関
5. 病院や診療所などの医療機関
6. 銀行などの金融機関
7. 飲食店や買い物をするとき
8. 福祉サービスを受けるとき
9. 家を借りるとき
10. 地域のイベントに参加するとき
11. 近隣や地域(家の近く)
12. 特にない
13. その他〔 〕

問34-2. 問34-1の場所や場面で、あなたが差別をされたと感じたいやいやな思いをしたのは、どのような内容でしたか。よろしければお書きください。(下欄に記入)

〔 〕

問35. あなたは、「障害者差別解消法※」を知っていますか。(あてはまるもの1つだけ○)  
※障害者差別解消法とは、役所や会社、お店などの事業者が、障がいのある人に対して、正当な理由なく、障がいを理由として差別することを禁止する法律です。

1. 法律の内容まで知っている 2. 法律があることは知っている 3. 知らない



問36. あなたは、成年後見制度※を使いたいですか。(あてはまるもの1つだけ○)  
※成年後見制度とは、財産(お金など)の管理や契約をする際、判断するのが難しい人を支援する制度です。詳細は、若のニ次元ページを読んで、大田区の「成年後見制度の概要」のWebページにアクセスしてください。

1. すでに使っている
2. 将来必要になったら後見、補佐、補助のいずれかを使いたい
3. 特に必要なではない
4. 必要になるかわからない
5. 制度を知らない

問37. あなたは、障害者虐待防止センターがあることを知っていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

1. 内容や場所まで知っている 2. 名前は知っている 3. 知らない

## 8. 日中の活動・将来の暮らし方

問38-1. あなたは、日中(昼間)、壁にどのように過ごしていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

1. 会社などで働いている、または、自分で商売(自営業)や在宅勤務などを行っている
2. 働く練習や社会生活を学ぶために作業などをを行う施設に通っている
3. デイサービスやデイケアなどに通っている
4. 家で家事や育児、介護などを行っている
5. 学校に通っている
6. 治療やリハビリのために、入院している
7. 1～6に該当することはない ⇒問38-2へ

問38-2. (問38-1で「7.1～6に該当することはない」と回答した方にお伺いします)

- 仕事・就学・家事等をしていない理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)
1. 高齢のため
  2. 障がいや病気のため
  3. 自分に合った仕事や職場がないため
  4. 通勤・通学が困難なため
  5. 仕事を探しても、就労に結びつかないため
  6. 働く必要がないため
  7. 特に理由はない
  8. その他〔 〕

問39. 勤務時間や学校・施設に通っている時間以外の、余暇の時間の過ごし方についてお伺いします。  
 (1)現在、どのように過ごしていますか。また、(2)今後、どのように過ごしたいですか。(それぞれ  
 あてはまるものを全てに○)

	(1)現在の過ごし方	(2)今後の過ごし方
① 家でくつろぐ(テレビを見る、家族と過ごす)	1	1
② ゲームをする、インターネット(SNS等)を見る	2	2
③ 友人・知人と会って交流を深める	3	3
④ 買い物や映画に行くなど外出して過ごす	4	4
⑤ 講座や講演会に参加する	5	5
⑥ 読書をする、音楽を聴く	6	6
⑦ スポーツ・レクリエーション活動に参加する	7	7
⑧ 障害者団体の活動に参加する	8	8
⑨ 地域の行事やお祭りに参加する	9	9
⑩ ボランティアなど社会貢献活動に参加する	10	10
⑪ 趣味やサークルなどの活動に参加する	11	11
⑫ 資格取得等の勉強をする	12	12
⑬ その他〔 〕	13	13

問40-1. 10年後、あなたはどのように暮らしたいと思っていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

1. 家族と暮らしたい 2. 一人で暮らしたい 3. 施設で暮らしたい →問40-2へ  
 4. わからない 5. その他〔 〕

問40-2. [問40-1で]3.施設で暮らしたいと回答した方にお伺いします

- グループルームを利用する意向はありますか。(あてはまるもの1つだけ○)  
 1. 現在利用している 2. 将来、利用したい 3. 利用の意向はない 4. わからない

問41. 希望する暮らし方や進路・生活設計を実現する上で、どのようなことを望みますか。(あてはまるもの  
 全てに○)

1. 家族との関係が良好であること 2. 困ったときに相談できる相手がいること  
 3. 住まいがあること 4. グループルームなどの施設が利用できること  
 5. 働く場所や仕事があること 6. 自立生活のための訓練・体験が行えること  
 7. 日中の行き場(通所施設、作業所、デイケア 8. 自宅で過ごすための訪問系サービスを受けられること)  
 など)があること 9. 経済的負担が軽減されること 10. 必要な医療が受けられること  
 11. 道路・交通・建物がバリアフリー化されたこと 12. 地域の人たちの障がいに対する理解が進むこと  
 13. 特になし  
 14. その他〔 〕

9. ライフステージごとの課題

問42. あなたのこれまでの人生を振り返り、[A]～[D]の時期で、障がいがあるために以下に該当するよう  
 な困ったことはありませんか。障害認定を受けた時期以降の設問にのみご回答ください。

[A]乳幼児期(就学前)(あてはまるものを全てに○)

1. この時期は障害認定を受けていない  
 2. 発達支援サービスをすぐに利用できなかった  
 3. 障がいのため、同じくらの年齢の子とも交流したり、一緒に遊んだりする機会が少なかつた  
 4. 障がいや特性への理解がある保育園や幼稚園がなかなか見つからなかつた  
 5. 障がいに気づいてもらえなかつた  
 6. 特に困ったことはなかつた  
 7. その他〔 〕  
 8. 覚えていない

[B]学齢期(小・中・高校生)(あてはまるものを全てに○)

1. この時期は障害認定を受けていない  
 2. 学校に障がいへの支援がなかつた  
 3. 障がいのため、友人関係で悩むことが多かつた  
 4. 参加したい部活動や習い事が、障がいを理由に参加しにくかつた  
 5. 先生や生徒に、自分の障がいや困難を理解してもらえなかつた  
 6. 放課後や長期休暇に、障がいがあつても安心して過ごす場所がなかつた  
 7. 卒業後の進路の選択が限られていた  
 8. 卒業後の進路決定に必要な情報が不足していた  
 9. 障がいのために、学校に行くことができなかつた  
 10. 特に困ったことはなかつた  
 11. その他〔 〕

[C]青年期・成人期(19～39歳)(あてはまるものを全てに○)

1. この時期は障害認定を受けていない  
 2. 障がいのため、働きたくても、自分に合った仕事が見えなかつたからなかつた、働き続けるのが難しかつた  
 3. 一人暮らしやグループホームでの生活をしたいと思つても、入居できる場所がなかつた  
 4. 気軽に相談できる人や、同世代の仲間と交流する機会が減つてしまつた  
 5. 小児科から大人の診療科へ移る際に、適切な引継ぎやサポートがなかつた  
 6. 児童福祉施設や子どもの時に使えた障がい福祉のサービスが利用できなくなり、居場所ややる  
 ことがなくなつた  
 7. 自分の障がい特性を読まえた恋愛・結婚・人間関係に關する支援がなかつた  
 8. 特に困ったことはなかつた  
 9. その他〔 〕

**【D】中高年期以降(40歳～)(あてはまるもの全てに○)**

1. まだ該当する年齢ではない
2. 籍が高齢になり、この先の生活や籍が亡くなった後のことがとても不安だ
3. 障がいと高齢の両方に対応できるサービスが少ない
4. 健康や介護のことで相談できる機会が少ない
5. これまで利用していた障がい福祉のサービスや活動の場が、年齢を理由に利用しにくくなった
6. 年齢に合った障がい福祉のサービスがなくなってきた
7. 介護保険サービスの優先の原則を知らなかった
8. 特に困ったことはなかった
9. その他 ( )

**10. 区の施策**

問4-3. あなたは「大田区立障がい者総合サポートセンター さぼーとびあ※」を知っていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

※「障がい者総合サポートセンター さぼーとびあ」とは、相談支援や地域交流支援など障がいのある方の暮らしを総合的に支える拠点です。詳細は、若の二次先バナーコードを読み取り、さぼーとびあWebページにアクセスしてください。



1. 知っていて、利用したことがある
2. 名前や場所は知っているが、利用したことはない
3. 知らなかった

問4-4-1. 「大田区立障がい者総合サポートセンター さぼーとびあ」では、下に書かれているようなことができます。あなたは、次のうち、どれを使いたいですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 専門的な職員に相談したい
2. 就労(働くこと)の支援を受けたい
3. 短期入所を使いたい
4. 自立訓練に通いたい
5. 自分が興味のある内容の講座等に参加したい
6. 障がい者スポーツを体験したい
7. 本や雑誌を読んだり、情報を得たい
8. ボランティアや団体の活動に参加したい
9. カラエの販売品に興味がある
10. 特に使いたいたいと思わない ⇒問4-2へ

問4-4-2. (問4-4-1で「10. 特に使いたいたいと思わない」と回答した方にお伺いします) 使いたいたいと思わない理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 通うのに交通費がかかるから
2. 通うのに遅く、大変だから
3. 学校や仕事忙しいから
4. 家族の介護で忙しいから
5. 知っている人がいないから
6. 使いたいたいサービスがないから  
→使いたいたいサービス ( )
7. 他の人とあまりかわりたくないから
8. 必要だと思わないから
9. 特に理由はない
10. その他 ( )

問4-5. 大田区の障がい児・者への取組について、特にどのようなことを充実させてほしいですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 相談支援や情報提供の充実
2. グループホームなどの地域で暮らせる場の整備
3. 入所施設の整備
4. 日中活動の場の整備
5. 体験活動や趣味の講座などの充実
6. 働きやすい環境づくり
7. 療育や教育の充実
8. 交通機関や施設などのバリアフリー、ユニバーサルデザインの促進
9. 医療やリハビリの充実
10. 手当や年金などの経済的な支援の拡充
11. 家で受けられるサービスの充実
12. 災害時の支援体制の整備
13. 緊急時の対応(相談先等)
14. ボランティア活動の充実
15. 障がいについての理解の促進
16. 権利擁護や虐待防止の取組

問4-6. 区に充実してほしい施策について、ご自由にご意見をお書きください。(下欄に記入)

Blank area for handwritten responses to question 4-6.

問4-7. ふだん、あなたを介助・支援している(助けてくれる)人はいますか。(あてはまるもの1つだけ○)

1. いる ⇒問4-8へ
2. いない ⇒調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

**11. 家族（子、配偶者、親等）のニーズ**

※以下の設問は、ご本人のケアを主に担われているご家族がご記入ください。

※以下の設問は、ケアを主に担われている方を「あなた」としています。

問48. 障がいのある方本人(宛名の方)からみて、あなたの続柄は何ですか。(あてはまるもの1つだけ○)

- |             |          |           |
|-------------|----------|-----------|
| 1. 父        | 2. 母     | 3. 兄弟姉妹   |
| 4. 子ども      | 5. 孫     | 6. 配偶者    |
| 7. 相交母      | 8. 施設の職員 | 9. ボランティア |
| 10. ホームヘルパー | 11. その他  |           |

問49. (1)あなたの年代を教えてください。また、(2)あなたの就労・就学状況を教えてください。(それぞれあてはまるもの1つだけ○)

- (1)あなたの年代
- |           |           |         |
|-----------|-----------|---------|
| 1. 10歳代以下 | 2. 20歳代   | 3. 30歳代 |
| 4. 40歳代   | 5. 50歳代   | 6. 60歳代 |
| 7. 70歳代   | 8. 80歳代以上 |         |

- (2)あなたの就労・就学状況
- |               |           |
|---------------|-----------|
| 1. 就労している     | 2. 就学している |
| 3. 就労・就学していない | 4. その他    |

問50. 主にケアをされているあなたがいけないとき、障がいのある方本人(宛名の方)に支援が必要になった場合、どのようにしていますか。(あてはまるもの全てに○)

- |                              |                               |
|------------------------------|-------------------------------|
| 1. 一緒に住んでいる家族や親せきに頼む         | 2. 別の家に住んでいる家族や親せきに頼む         |
| 3. 緊急一時保護(家庭委託、特別介護人派遣など)を使う | 4. 介護や家事援助などを行うホームヘルパーサービスを使う |
| 5. 短期入所(ショートステイ)を使う          | 6. 近所の人や友達・知り合いに頼む            |
| 7. ボランティアに頼む                 | 8. 他に依頼できる人はいない               |
| 9. その他                       |                               |

問51. あなたは、障がいのある方本人(宛名の方)以外の人を介護、支援等をすることはありませんか。(あてはまるもの全てに○)

- |                    |            |          |
|--------------------|------------|----------|
| 1. 高齢者の介護          | 2. 乳幼児の子育て | 3. 病人の看護 |
| 4. 宛名の方以外の障がいの者の介護 | 5. いらない    |          |
| 6. その他             |            |          |

問52. いつも介助や支援している家族に対する支援サービスとして、どのようなことを充実させていけばよいと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

- |                               |
|-------------------------------|
| 1. 同じ境遇の家族に相談できるサービス          |
| 2. 医療福祉専門職に相談できるサービス          |
| 3. 当事者家族が主催する学習会              |
| 4. 当事者へのかかわり方を学ぶ場             |
| 5. 経済的支援に関する相談・情報提供           |
| 6. 緊急一時保護(家庭委託、特別介護人派遣など)の充実  |
| 7. 介護や家事援助などを行うホームヘルパーサービスの充実 |
| 8. 短期入所(ショートステイ)の充実           |
| 9. 親亡き後の本人のことについて相談できるサービス    |
| 10. その他                       |

調査は以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

回封の返信用封筒に封入の上、

**2025年11月30日(日)**までにご投函ください。



問4. あなたは、どなたと暮らしていますか。(あてはまるものを全てに○)

- 1. 親
- 2. 兄弟姉妹
- 3. 親せき
- 4. 施設の仲間や職員
- 5. 病院に入院している
- 6. その他 ( )

問5. この一年間でコミュニケーションや意思の伝達等においてどのような場面が困りましたか。(あてはまるものを全てに○)

- 1. 相手の話している内容を、正確に理解することが難しかった
- 2. 文書を読み書きすることが難しかった
- 3. 専門用語や手書きの説明が難しく、内容がよく理解できなかった
- 4. 案内表示やチラシなどが、わかりにくかった
- 5. 自分の希望や意見、症状等を、正確に伝えることができなかった
- 6. 相手の障がいに対する理解が足りなかった
- 7. その他 ( )
- 8. 特に困ったことはない

問6. 意志の伝達を助ける際、特別な手段や道具や用具等を使っていますか。(あてはまるものを全てに○)

- 1. 必要ではない
- 2. 口話 (話し)
- 3. 手話
- 4. 補聴器や人工内耳等の補聴機器
- 5. 筆談・契約筆記
- 6. 文字盤
- 7. 点字
- 8. パソコン
- 9. スマートフォン・タブレット
- 10. 携帯用会話補助装置・発声補助機
- 11. 同行援護
- 12. その他 ( )

## 2. 障害福祉サービス等

問7-1. 以下A～Fの障害福祉サービス等において、あなたが、「(1)現在利用している」「サービスと(2)今後利用する予定(今後も利用する予定)」のサービスを教えてください。

利用パターン別の回答方法  
 ①現在利用している、今後も利用する ⇒ 「1」「2」ともに○ ②現在利用している、今後利用しない ⇒ 「1」だけ○  
 ③現在利用しておらず、今後利用する ⇒ 「2」だけ○ ④現在も今後も利用しない ⇒ ○をつけず

A. こどもの発達支援、療育	(1)現在 利用している	(2)今後(も) 利用する予定
こどものニーズに合わせた計画を立て、療育や日常生活の支援を行います。 (個別サービス名) ○児童発達支援 ○放課後等デイサービス ○障害児等訪問支援 ○居宅訪問型児童発達支援 ○障害児相談支援	1	2
B. 自宅での生活支援(ホームヘルプ)等	(1)現在 利用している	(2)今後(も) 利用する予定
ヘルパーが自宅を訪問し、入浴や食事などの生活全般を支援します。 (個別サービス名) ○居宅介護 ○重度訪問介護 ○重度障害者等包括支援 ○訪問入浴サービス	1	2
C. 外出・移動のサポート	(1)現在 利用している	(2)今後(も) 利用する予定
外出に同行し、移動の支援や危険回避、社会参加のための支援をします。 (個別サービス名) ○同行援護 ○行動援護 ○移動支援事業	1	2
D. 一時預かり(レスパイト)	(1)現在 利用している	(2)今後(も) 利用する予定
家族の休意などのため、日中や短期間の預かり支援を行います。 (個別サービス名) ○短期入所 ○日中一時支援 ○在宅レスパイト	1	2
E. 日常生活の支援	(1)現在 利用している	(2)今後(も) 利用する予定
日常生活に必要な用具の給付や、意思疎通を支える支援を行います。 (個別サービス名) ○日常生活用具給付等事業 ○意思疎通支援事業	1	2

F. 相談支援、サービス等利用計画の作成 サービス利用の計画作成や相談、権利を守るための手続きを支援します。 (個別サービス等) ○計画相談支援 ○相談支援事業	(1)現在 利用している	(2)今後(も) 利用する予定
	1	2

問7-2. 以下G～Kの障害福祉サービス等について、将来(18歳以降)の利用意向を教えてください。  
今後利用したい場合は、G～K それぞれの「1」に○をつけてください。

G. 日中の活動の支援(通所) 日中に施設へ通い、介護や医療的ケア、創作活動の機会を提供します。 (個別サービス等) ○生活介護 ○療養介護	今後利用したい
	1

H. 自立のための訓練 身体機能の回復や生活スキルなど、自立生活のための訓練をします。 (個別サービス等) ○自立訓練(機能訓練) ○自立訓練(生活訓練) ○生活型自立訓練	今後利用したい
	1

I. 働くための支援 就職に必要な訓練、働く場の提供、職場への定着までを支援します。 (個別サービス等) ○就労継続支援(A型) ○就労継続支援(B型) ○就労移行支援 ○就労定着支援	今後利用したい
	1

J. 住む場所の提供と支援 グループホームや施設で、主に夜間に介護を受けながら生活します。 (個別サービス等) ○共同生活援助(グループホーム) ○施設入所支援	今後利用したい
	1

K. 地域で生活するための支援 施設等から地域へ移り、一人暮らしなどを安定して続ける支援です。 (個別サービス等) ○自立生活援助 ○地域移行支援 ○地域定着支援	今後利用したい
	1

問8. サービスを利用しやすくするために必要だと思うことは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 特に必要なと思うことはない 2. サービス利用に関する決まりや仕組みをわかりやすくすること 3. 自分に合った事業所が選べること 4. 重度の障がいや医療的ケアにも対応できること 5. 使いたいときに使えるように利用できる曜日・時間を増やすこと 6. サービスに携わっているスタッフ・人材の知識・技術・意識を高めること 7. サービスを提供している部屋や建物を広くすること 8. 通いやすい場所にサービスを利用できる施設・事業所があること 9. その他 [ ]
---

【問9～13は、障害福祉サービス等を利用されている方にお伺いします。】

問9. 現在、利用しているサービスの満足度について教えてください。(あてはまるもの1つだけ○)

1. 満足している 2. おおよそ満足している 3. 不満足である
---

問10. あなたが現在利用しているサービス事業所を選んだ理由は何か。(あてはまるもの全てに○)

1. 自宅から近いなど、交通アクセスが良かった 2. 送迎があるから 3. 相談支援専門員・医師などにすすめられたから 4. 以前から知っていて安心感があったから 5. 知っている利用者や職員がいたから 6. 必要なサービスが受けられるから 7. 提供されているプログラムに魅力を感じたから 8. 算学時等に職員の対応が丁寧・安心だったから 9. 職員の専門性が高いと感じたから 10. 施設の設備環境、雰囲気や印象が良かったから 11. 過去の実績や評判が良かったから 12. 個別のニーズに対応してくれただから 13. 利用料や負担が比較的に少なかつたから 14. 他に空きがなく、そこだけ利用可能だったから 15. 利用したい曜日や時間帯に空きがあったから 16. その他 [ ]
--

問11-1. あなたが、「障害福祉サービス等」を使いたいと思ったときに、困ったことはどのようなことですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 制度や手続きがわかりにくい 2. 手続きが大変 3. サービスの利用までに時間がかかる 4. 自分に合った事業者が見つからない 5. 事業者から断られた 6. 金額が高い(経済的負担が大きい) 7. どうやってサービスを探したらいいかわからない 8. 特にな 9. その他 [ ]
---

問11-2. 【問11-1で5. 事業者から断られた理由について、差し支えない範囲で教えてください。(あてはまるもの全てに○) 事業者から断られた理由について、差し支えない範囲で教えてください。(あてはまるもの全てに○)

1. 医療的ケアが必要のため
2. 本人の活動性が低いいため
3. 住所がサービス提供範囲外のため
4. 病状の変動が大きいため
5. 事業所が人材不足のため
6. すでに定員いっぱいであるため
7. 利用日程が合わないため
8. 送迎の対応が難しいため
9. 公的サービスの対象となっていないため
10. わからない
11. その他 [ ]

問12. あなたが現在利用されているサービスに不満はありませんか。不満がある場合は、どのような点ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 不満は特にない
2. 必要なサービスが提供されていない
3. 回数や時間が足りない
4. 使いたいときに使えない(日程などの条件が合わない)
5. 希望するサービスが対象外である
6. サービス情報が不足していたり取得が難しかった
7. 事業者を選べない
8. 事業所の職員の専門性やスキル等が不足していると感じた
9. 家族との連携がとれていない
10. 他の事業所との連携がとれていない
11. 事業所の設備面の環境がよくない
12. 施設が遠い
13. 同じ事業所を継続して使い続けられない
14. 金額が高い(経済的負担が大きい)
15. その他 [ ]

問13-1. あなたの障害福祉サービスの利用計画は誰が作成していますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 本人または家族
2. 相談支援事業所
3. わからない・覚えていない
4. その他 [ ]

問13-2. 【問13-1で1. 本人または家族と回答した方にお伺いします】

- 計画相談支援を利用しない理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)
1. 自分を使うサービスは自分で決めたから(計画相談支援が必要だと思わなかったから)
  2. 相談支援のサービスはあることを知らなかったから
  3. 相談支援事業所が近くになかったから
  4. 計画相談支援を利用するための手続きが煩雑そうだと思ったから
  5. 計画相談支援事業所に断られたから
  6. 計画相談支援を利用したことがあるが、自分には合わなかったから
  7. 計画相談支援事業所に自分が求める知識がなかったから
  8. 特に理由はない
  9. その他 [ ]

問14. 【いずれのサービスも利用していない方にお伺いします】

- あなたがサービスを利用していない理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)
1. 自分で生活できるから
  2. 家族が介助してくれるから
  3. サービスを知らなかったから
  4. 自分がサービスを受けられなかったから
  5. 利用方法がわからなかったから
  6. サービスの内容がよくないから
  7. 必要なサービスが提供されていないから
  8. 金額が高い(経済的負担が大きい)から
  9. 家の近くに施設がないから
  10. 家族以外に介助してもらうことに不安があるから
  11. 事業者が断られたから
  12. 以前利用したがよくなかったから
  13. 相談先がわからないから
  14. 特に理由はない
  15. その他 [ ]

3. 情報や相談

問15. 福祉についての情報などを、どのような方法で手に入れていますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 友達・知り合いから
2. 区報、区のホームページで
3. インターネット
4. SNS等
5. 相談支援専門員から
6. 医療機関の相談窓口で
7. 障がい者団体や家族会から
8. テレビ、新聞などで
9. 保育園・学校等
10. その他 [ ]

問16. 福祉についての情報などを、手に入れたときに困ったことは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. どのように調べればよいか、どこで相談すればよいかわからなかった
2. ホームページなどの情報量が多すぎて、自分に必要な情報がわからなかった
3. 情報の内容が難しく、理解できなかった
4. 広報紙や窓口で配布されるチラシレットだけでは、内容が半分に感じた
5. 廣が、特性に合った情報提供方法ではなかった(手話、点字、音声読み上げ、やさしい日本語など)
6. 窓口等で必要な情報を説明することが難しい
7. その他 [ ]
8. 特に困ったことはなかった

問17. あなたが日常生活で困っていたり、相談したいと思っていることはどのようなことですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 身の回りの介助をしてくれる人のこと
2. 相談できる人がいないこと
3. 移動手段が乏しいこと
4. 就労・就学先が見つからないこと
5. 趣味や楽しみが持てないこと
6. 生活に必要な情報が得られないこと
7. 病院・診療所や医療サービスのこと
8. 友人との関係がうまくいかないこと
9. 余暇活動の場や機会がないこと
10. 薬の管理が難しいこと
11. お金の管理が難しいこと
12. 病がなくなった後のこと
13. 特に困っていることはない
14. その他 [ ]

問18-1 いま、あなたが相談できるのは、どのようなところ(人)ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 区役所 (地域福祉課や地域健康課など) 2. 障がい者総合サポートセンター 時間18-2へ
3. 相談支援事業所
4. 身体障害者相談員、知的障害者相談員、精神障害者相談員
5. 家族・友達・知り合い
6. 福祉施設の職員
7. 医療関係者 (医師・看護師など)
8. 同じ障がいをもつ仲間 (当事者団体等)
9. 保育園や幼稚園、学校の先生
10. 特にない
11. その他 [ ]

問18-2. 【問18-1で「1. 区役所(地域福祉課や地域健康課など)」「2. 障がい者総合サポートセンター」「3. 相談支援事業所」と回答した方にお伺いします】

その相談によって、あなたの悩みや困りごとは解決しましたか。(それぞれにあてはまるもの1つだけ○)

	解決した	どちらとも言えない	解決しなかった
区役所(地域福祉課や地域健康課など)	1	2	3
障がい者総合サポートセンター	1	2	3
相談支援事業所	1	2	3

問19. 日常生活での困りごとなどを相談しやすいとするためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(あてはまるもの全てに○)

1. 身近な場所で相談できること
2. 相談員が自宅に訪問してくれること
3. 休日や夜前でも相談できること
4. 対応する人が障がい特性を理解していること
5. 専門的な相談や助言ができる人材がいること
6. 同じ障がいをもつ方に相談できること
7. 電話やオンラインで相談できること
8. 手話通訳などのコミュニケーションの支援が充実していること
9. 予約をしなくても話を聞いてもらえること
10. 定期的に相談できること
11. どのような相談にも1か所の窓口で対応して 12. どこで、どんな相談ができるかわかりやすいこと
13. 実際に相談した方の評価(口コミ)が確認できること
14. その他 [ ]
15. 特に必要だと思わないこと

#### 4. 就園・就学や外出

問20. あなたは、通園や通学で困っていることがありますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 通うのが大変
2. トイレや階段などの施設が利用しにくい
3. 介助・支援体制が不十分
4. 学校など受入れ側の理解や配慮の不足
5. まわりの人たちの理解や配慮の不足
6. 人間関係がうまくいかない
7. 通園・通学先で求められる意識対策(手洗い、消毒等)への対応が難しい
8. 医療的ケアに対応していない
9. 特にない
10. 通園・通学していない
11. その他 [ ]

問21. あなたが、教育の場において、特に充実させてほしいのはどのようなことですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 障がいに応じた専門的な教育
2. 学校での受入れ体制
3. 普通学級での受入れ体制
4. 状況に応じて学ぶ場を変更できる制度
5. 障がいのある子とない子の交流機会
6. 医療的ケアが受けられる
7. 自宅での学習機会
8. カウンセリングや相談体制
9. その他 [ ]

問22. くだん、あなたはどのくらい外に出かけていますか。「(1)通学・通所等」と「(2)レジャー・余暇等の自的ごとに教えてください。(それぞれあてはまるもの1つだけ○)

(1)通学・通所等

1. ほとんど毎日出かけている
2. 週に3~4日出かけている
3. 週に1~2日出かけている
4. 通学・通所等はない

(2)レジャー・余暇等

1. ほとんど毎日出かけている
2. 週に3~4日出かけている
3. 週に1~2日出かけている
4. ほとんど出かけていない

#### 5. 保健・医療

問23. あなたは、現住、医師の診療(歯科診療を含む)を受けていますか。「(1)障がいに関すること」と「(2)障がい以外のこと」のそれぞれで教えてください。(それぞれあてはまるもの1つだけ○)

(1)障がいに関すること

1. 定期的に通院している
2. ときどき通院している
3. 自宅で訪問看護や往診を受けている
4. 入院している
5. 特に治療はしていない
6. その他 [ ]

(2)障がい以外のこと

1. 定期的に通院している
2. ときどき通院している
3. 自宅で訪問看護や往診を受けている
4. 入院している
5. 特に治療はしていない
6. その他 [ ]

問24. 最後に健康診断を受けたのはいつですか。(あてはまるもの1つだけ○)

1. この1年以内      2. 1～2年前      3. 3～5年前      4. 5年以上前  
5. 受けたことがない (理由: )

問25. あなたは予防接種(シブテリア・百日せき・麻疹(はしか)、風しん等)を受けていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

1. すべて受けている  
2. 半分くらいは受けている  
3. 受けていない (理由: )

問26. あなたは、ご自分の健康や医療のことで、困っていることや不安に思っていることがありますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 障がいの重度化や病気が悪くなる  
2. 服薬管理や栄養管理が難しい  
3. 障がいがあるにもかかわらず、病院がない  
4. かかりつけの医療機関や医師がいない  
5. 今、かかりつけの医師にいつまで診てもらえるか不安  
6. 治療内容の説明がわからない  
7. 病院にかかるお金の負担が大きい  
8. 障がいを含めた健康状態を相談できる医療機関がない  
9. 薬や病状に対する不安  
10. 病院にかかることへの心理的な抵抗がある  
11. 特になし  
12. その他 [ ]

## 6. 災害時の対応

問27. あなたは「ヘルプカード(たすけてねカード)」※を知っていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

※「東京都自立支援協議会」が障がいのある方々の災害対策の一環として作成したカードであり、障がいのある方が災害時や日常の外出先での緊急時など困ったときに、手助けを求めることができるカードです。

1. 持っている・使っている  
2. 知っているが、持っていない・使っていない  
3. 知らない



ヘルプカード  
(たすけてねカード)

ヘルプカード(たすけてねカード)は、障害福祉課や地域福祉課、地域健康課、特別出張所の窓口、障がい者総合センターなどでお受け取りいただけます。数に限りがございますので、事前に在庫状況をお問い合わせください。

問28. あなたは、災害(地震や台風など)のとき、無事かどうかの確認や避難の手助けなどのために作成されている「避難行動要支援者名簿※」を知っていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

※災害時に自ら避難することが難しい「労働(避難行動要支援者)の安全確認や避難支援を迅速に行うため、本人の同意に基づき作成される名簿です。この名簿は、地域の支援者(民生委員や自治会・町会など)と共有され、いざという時に地域で支え合う仕組みづくりに活用されます。

1. 名簿があることを知っており、登録している  
2. 名簿があることを知っているが、登録していない  
3. 名簿があることを知っているが、登録の仕方がわからない  
4. 名簿があることを知らなかった

問29. あなたは、災害(地震や台風など)時に自ら避難することが困難な避難行動要支援者が作成することを推奨されている、「個別避難計画※」を知っており作成していますか。(あてはまるもの1つだけ○)

※災害時に、自ら避難することが困難な要支援者一人一人の状況に合わせ、避難誘導ができるよう、あらかじめどのように避難するか、誰が支援するか、どんな配慮が必要かなどを定めておく計画です。

1. 知っており、作成している  
2. 知っているが、作成していない  
3. 作成する必要がある(作成するつもりがない)  
4. 知らなかった

問30. あなたは「マイ・タイムライン※」を知っていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

※風水害の発生に備えて、自身や家族の取るべき行動について、「誰が」「何をするか」を階別に整理した個人の防災行動計画のことです。

1. 作成の目的を知っている  
2. 言葉は知っているが、目的はわからない  
3. 言葉も目的も知らない

問31-1. あなたは、災害(台風の水害等含む)が起きた際に、どのような行動(避難など)をすればよいかわかり、理解し、備えていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

1. 理解し、備えている      2. 理解しているが、備えていない      3. 理解しておらず、備えていない  
⇒問31-2      ⇒問32A

問31-2. (問31-1で「理解し、備えている」と回答した方にお伺いします)

どのような備えをされていますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 避難計画の策定      2. 備蓄(食べ物や飲み物、薬)      3. 非常用電源等  
4. 避難所の確認      5. 地域の支援団体との連携      6. ヘルプカードの作成  
7. その他 [ ]

問32. あなたが、災害(地震や台風など)があったときに、困ることや不安に思うことは何ですか。(あてはまるもの全てに○)  
 1. 家で過ごすための準備(食べ物や飲み物、菓の用意、非常用電源や地震に強い家等)が十分  
 2. 家族と連絡ができなくなる  
 3. 実際に被害にあったとき、どう行動していいかわからない  
 4. 避難所(近くの避難所、障がいがある人も受け入れてくれる避難所等)を知らない  
 5. 避難所までひとりで行くことができず、または、避難する途中に不安な場所がある  
 6. 被害の様子などの情報を手に入れることが難しい  
 7. 避難所で、バリアフリーのトイレなどが十分にあるのか、不安だ  
 8. 避難所で、いつもと同じ薬や治療が受けられない  
 9. 避難所での周りの人の自が気になる  
 10. 特にな  
 11. その他〔 〕

**7. 権利擁護**

問33-1. 障がいがあることを理由として差別をされたと感じた・いやな思いをしたことがありますか。あった方は、どのような場所や場面でそのようなことがあったか教えてください。(あてはまるもの全てに○)  
 1. 学校や教育の場面 2. 公共交通機関や公共施設(駅など) 3. 区役所などの行政機関  
 4. 病院や診療所などの医療機関 5. 飲食店や買い物のとき 6. 福祉サービスを受けるとき  
 7. 地域のイベントに参加するとき 8. 近隣や地域(家の近く) 9. 特にな  
 10. その他〔 〕

問33-2. 問33-1の場所や場面で、あなたが差別をされたと感じた・いやな思いをしたのは、どのような理由でしたか。よろしければお書きください。(下欄に記入)

問34. あなたは、「障害者差別解消法※」を知っていますか。(あてはまるもの1つだけ○)  
 ※障害者差別解消法とは、役所や会社、お店などの事業者が、障がいのある人に対して、正当な理由なく、障がいを理由として差別することを禁止する法律です。

1. 法律の内容まで知っている 2. 法律があることは知っている 3. 知らない

問35. あなたは、将来、成年後見制度※を使ってみたいですか。(あてはまるもの1つだけ○)  
 ※成年後見制度は、自分のお金のことや大事なことを決めるのが難しい人や、専門の人がかわりに助けるしくみです。詳細は、若の二次完バーコードを読み取り、夫田区の「成年後見制度の概要」のWebページにアクセスしてください。  
 1. 将来必要になったら後見、補佐、補助のいずれかを使いたい 2. 特に必要ではない  
 3. 必要になるかわからない 4. 制度を知らない

問36. あなたは、障害者虐待防止センターがあることを知っていますか。(あてはまるもの1つだけ○)  
 1. 内容や場所まで知っている 2. 名前は知っている 3. 知らない

**8. 日中の活動・娯楽の暮らし方**

問37. あなたが、日中(昼間)、空に通じている場所はどこですか。(あてはまるもの1つだけ○)  
 1. 保育園・幼稚園 2. 療育施設 3. 小学校・中学校  
 4. 高等学校 5. 特別支援学校 6. 自宅  
 7. その他〔 〕

問38. 放課後の時間の過ごし方についてお伺いします。(1)現在、どのように過ごしていますか。また、(2)今後、どのような過ごし方を希望しますか。(それぞれあてはまるもの全てに○)  
 ※障害児通所支援には、未就学児向けの児童発達支援、就学児向けの放課後等サービスなどがあります。

	(1)現在の過ごし方	(2)希望する過ごし方
① 地域の同世代の子とも遊ぶ	1	1
② 学習保護者を利用する	2	2
③ 放課後子ども教室(放課後ひろば)を利用する	3	3
④ 習い事や塾に行く	4	4
⑤ 障害児通所支援※を利用する	5	5
⑥ スキートステイを利用する	6	6
⑦ 自宅やゆくり過ごす	7	7
⑧ 通園・通学をしていない	8	8
⑨ その他〔 〕	9	9

問39. 学校・施設に通じている時間以外の、余暇の時間の過ごし方についてお伺いします。(1)現在、どのように過ごしていますか。また、(2)今後、どのような過ごし方を希望しますか。(それぞれあてはまるもの全てに○)

	(1)現在の過ごし方	(2)今後の過ごし方
① 家でくつろぐ(テレビを見る、家族と過ごす)	1	1
② ゲームをする、インターネット(SNS等)を見る	2	2
③ 友人・知人と会う	3	3
④ 外に出て買い物や映画などに行く	4	4
⑤ 講座や講演会に行く	5	5
⑥ 読書をする、音楽を聴く	6	6
⑦ スポーツ・レクリエーション活動をしに行く	7	7
⑧ 障害者団体の活動に参加する	8	8
⑨ 地域の行事やお祭りに行く	9	9
⑩ ボランティアなど社会貢献活動に参加する	10	10
⑪ 趣味やサークルなどの活動に参加する	11	11
⑫ 資格取得等の勉強をする	12	12
⑬ その他〔 〕	13	13

問40. あなたは、今後(5年後)の進路をどのようにしたいと思っていますか。「5年後に18歳未満の労」と、「5年後に18歳を超える労」で、あてはまる芳にご回答ください。

<5年後に18歳未満の方>(あてはまるもの1つだけ○)

1. 小学校・中学校・高等学校などの普通教室
2. 小学校・中学校・高等学校などの特別支援教室に通いたい
3. 特別支援学校に通いたい
4. わからない
5. その他 [ ]

<5年後に18歳を超える方>(あてはまるもの2つまで○)

1. 大学・専門学校などに通いたい
2. 会社などに就職したい
3. 就労に向けた支援を受けたい
4. 就労継続支援A・B型施設に通いたい
5. 機能訓練や生活訓練の施設に通いたい
6. 生活介護施設に通いたい
7. わからない
8. その他 [ ]

問41. 将来18歳を超えたら、あなたはどのように暮らしたいと思っていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

1. 家族と暮らしたい
2. 一人で暮らしたい
3. グループホームで暮らしたい
4. その他の施設で暮らしたい
5. わからない
6. その他 [ ]

問42. 希望する暮らしや進路・生活設計を實現する上で、どのようなことを望みますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 家族との関係が良好であること
2. 困ったときに相談できる相手がいること
3. 住まいがあること
4. グループホームなどの施設が利用できること
5. 働く場所や仕事があること
6. 自立生活のための訓練・体験が行えること
7. 日中の行き場(通所施設、作業所、デイケアなど)があること
8. 自宅で過ごすための訪問系サービスが受けられること
9. 経済的負担が軽減されること
10. 必要な医療が受けられること
11. 道路・交通・建物(建物)がバリアフリー化されること
12. 地域の人たちの障がいに対する理解が進むこと
13. 特にない
14. その他 [ ]

## 9. ライフステージごとの課題

問43. あなたのこれまでの人生(または、あなたのお子さんのこれまでの成長)を振り返り、[A][B][C]の時期で、特に困ったことは何ですか。障害認定を受けた時期以降の設問にのみご回答ください。

[A]乳幼児期(就学前)(あてはまるもの全てに○)

1. この時期は障害認定を受けていない
2. 発達の違いや特性について、気軽に相談できる場所がなかった
3. 発達の支援サービスをすぐに利用できなかった
4. 同じくらいの年齢の子とも交流したり、一緒に遊んだりする機会が少なかった
5. 障がいや特性への理解がある保育園や幼稚園がなかった
6. 障がいに気づいてもらえなかった
7. 特に困ったことはなかった
8. その他 [ ]

[B]学齢期(小学校・中学校)(あてはまるもの全てに○)

1. この時期は障害認定を受けていない
2. 就学前の情報提供や相談支援が不十分だった
3. 担任や教職員の間が理解が乏しかったり、保護者への支援・相談体制が乏しかった
4. いじめや仲間外れの経験があった
5. 学校の設備・環境が不十分だった(バリアフリー、教室配置など)
6. 放課後や長期休暇中の居場所・支援の場が不足していた
7. 学校行事に参加するのが難しかった
8. 高校進学など、将来の進路について相談できる相手や情報が少なかった
9. 障がいのために、学校に行くことができなかった
10. 特に困ったことはなかった
11. その他 [ ]

[C]青年期(高校生)(あてはまるもの全てに○)

1. 担任や教職員の障がい理解が乏しかったり、保護者への支援・相談体制が乏しかった
2. いじめや仲間外れの経験があった
3. 学校の設備・環境が不十分だった(バリアフリー、教室配置など)
4. 放課後や長期休暇中の居場所・支援の場が不足していた
5. 学校行事に参加するのが難しかった
6. 卒業後の進路の選択肢が限られていた
7. 学校を卒業した後、利用できる福祉サービスや相談先に対する情報が不足していた
8. 卒業後、就労を希望しているが、就労に関する情報が不足していた
9. 障がいのために、学校に行くことができなかった
10. 特に困ったことはなかった
11. その他 [ ]

## 10. 区の施策

問44. あなたは「大田区立 障がい者総合サポートセンター さぼーとびあ※」を知っていますか。(あてはまるもの1つだけ○)



※「障がい者総合サポートセンター さぼーとびあ」とは、相談支援や地域交流支援など障がいのある方の暮らしを総合的に支える拠点です。詳細は、若の三次元QRコードを読み取り、さぼーとびあウェブサイトまたはWebページにアクセスしてください。

1. 知っていて、利用したことがある
2. 名前や場所は知っているが、利用したことはない
3. 知らなかった

問45-1. 「大田区立 障がい者総合サポートセンター さぼーとびあ」では、下に書かれているようなことができます。あなたは、次のうち、どれを使いたいですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 専門的な職員に相談したい
2. 就労（働くこと）の支援を受けたい
3. 相談場所を使いたい
4. 自立訓練に通いたい
5. 自分が興味のある内容の講座等に参加したい
6. 障がい者スポーツを体験したい
7. 本や雑誌を読んだり、情報を得たい
8. ボランティアや団体の活動に参加したい
9. カラエの販売品に興味がある
10. 特に使いたいと思わない ⇒問45-2A

問45-2. (問45-1で「10. 特に使いたいと思わない」と回答した方にお伺いします)  
使いたいと思わない理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 通うのに交通費がかかるから
2. 通うのに遠く、大変だから
3. 学校が忙しいから
4. 家族の介護で忙しいから
5. 知っている人がいないから
6. 使いたいサービスがいないから
7. 他の人とあまりかわりたくないから
8. 必要だと思わないから
9. 特に理由はない
10. その他 [ ]

問46. 大田区の障がい児・者への取組について、特にご覧いただくことを充実させてほしいですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 相談支援や情報提供の充実
2. グループホームなどの地域で暮らせる場の整備
3. 入所施設の整備
4. 日中活動の場の整備
5. 余暇活動や趣味の講座などの充実
6. 働きやすい環境づくり
7. 療育や教育の充実
8. 交通機関や施設などのバリアフリー、ユニバーサルデザインの促進
9. 医療やリハビリの充実
10. 手当てや年金などの経済的な支援の拡充
11. 家で受けられるサービスの充実
12. 災害時の支援体制の整備
13. 緊急時の対応（相談先等）
14. ボランティア活動の充実
15. 障がいについての理解の促進
16. 権利擁護や虐待防止の取組

問47. 区に充実してほしい施策について、ご自由にご意見をお書きください。(下欄に記入)

問48. ふだん、あなたを介助・支援している（助けてくれる）人はいますか。(あてはまるもの1つだけ○)

1. いる ⇒問49A
2. いない ⇒調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

## 11. 家族（子、配偶者、親等）のニーズ

※以下の設問は、ご本人のケアを主に担われているご家族にご記入ください。

※以下の設問は、ケアを主に担われている方を「あなた」としてします。

- 問49. 障がいのある方本人（氏名の方）からみて、あなたの続柄は何ですか。(あてはまるもの1つだけ○)
1. 父
  2. 母
  3. 兄弟姉妹
  4. 祖父母
  5. 施設の職員
  6. ボランティア
  7. ホームヘルパー
  8. その他 [ ]

問50. (1) あなたの年代を教えてください。また、(2) あなたの就労・就学状況を教えてください。(それぞれあてはまるもの1つだけ○)

- (1) あなたの年代
1. 10歳代以下
  2. 20歳代
  3. 30歳代
  4. 40歳代
  5. 50歳代
  6. 60歳代
  7. 70歳代
  8. 80歳代以上
- (2) あなたの就労・就学状況
1. 就労している
  2. 就学している
  3. 就労・就学していない
  4. その他 [ ]

問51. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

- |             |             |                  |
|-------------|-------------|------------------|
| 1. 大変苦しい    | 2. やや苦しい    | 3. ぶつう           |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | 6. 苦えられない・苦えたくない |

問52. 主にケアをされているあなたがいけないとき、障がいのある方本人(宛名の芳)に支援が必要になった場合、どのようにしていますか。(あてはまるもの全てに○)

- |                              |                              |
|------------------------------|------------------------------|
| 1. 一緒に住んでいる家族や親せきに頼む         | 2. 別の家に住んでいる家族や親せきに頼む        |
| 3. 緊急一時保護(家庭委託、特別介護人派遣など)を使う | 4. 介護や家事援助などを行うホームヘルプサービスを使う |
| 5. 短期入所(ショートステイ)を使う          | 6. 近所の人や友達、知り合いに頼む           |
| 7. ホウレンステイに頼む                | 8. 他に依頼できる人はいない              |
| 9. その他 [ ]                   |                              |

問53. あなたは、障がいのある方本人(宛名の芳)以外の人を介護、支援等をすることはありますか。(あてはまるもの全てに○)

- |                   |            |          |
|-------------------|------------|----------|
| 1. 高齢者の介護         | 2. 乳幼児の手育て | 3. 病人の看護 |
| 4. 宛名の方以外の障がい者の介護 | 5. いない     |          |
| 6. その他 [ ]        |            |          |

問54. 障がいの疑いや障害認定があったとき、初めにどのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

- |   |
|---|
| 1. 専門家(医師、心理士など)としっかり話ができる機会            |
| 2. 将来への不安などを安心して話せる相談窓口                 |
| 3. 同じような経験をした先輩保護者と交流できる場               |
| 4. 障がいの特性や、今後の成長の見過しについての情報             |
| 5. 利用できる福祉サービスや療育、支援制度の全体像がまとまった情報      |
| 6. 療育や児童発達支援などを、すぐに開始できる体制              |
| 7. 一緒に考え、手続きや見学に同行してくれる標準型の支援者          |
| 8. 心理士やカウンセラーによる保護者のメンタルサポート            |
| 9. 保育園や幼稚園などで、障がいへの理解や受け入れに関する相談ができる機会  |
| 10. すぐに利用できる経済的な支援制度に関する情報と手続きのサポート     |
| 11. きょうだい児のケアや、親自身のストレスケアのための、一時的な預かり支援 |
| 12. その他 [ ]                             |

問55. いつも介護や支援している家族に対する支援サービスとして、どのようなことを充実させていけばよいたと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

- |                              |
|------------------------------|
| 1. 同じ境遇の家族に相談できるサービス         |
| 2. 医療福祉専門職に相談できるサービス         |
| 3. 当事者家族が主催する学習会             |
| 4. 当事者へのかかわり方を学ぶ場            |
| 5. 経済的支援に関する相談・情報提供          |
| 6. 緊急一時保護(家庭委託、特別介護人派遣など)の充実 |
| 7. 介護や家事援助などを行うホームヘルプサービスの充実 |
| 8. 短期入所(ショートステイ)の充実          |
| 9. 親亡き後の本人のことについて相談できるサービス   |
| 10. 特にない                     |
| 11. その他 [ ]                  |

調査は以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に封入の上、

**2025年11月30日(日)**までにご返函ください。



問4-1. 貴事業所では、職員の**育成**のために、「(1)現在、実施している取組」は何ですか。また、「(2)実施したいが、できていない取組」は何ですか。(それぞれあてはまるもの全てに○)

取組	(1)現在、実施している取組	(2)実施したいが、できていない取組
① 能力や仕事ぶりの評価に伴う配置・処遇への反映	1	1
② 仕事に必要な能力等の提示	2	2
③ OJTの実施	3	3
④ 新人の指導担当・アドバイザーの設置	4	4
⑤ 法人内部研修の実施	5	5
⑥ 外部研修・研究会への参加	6	6
⑦ 資格取得支援	7	7
⑧ 定期的な面談の実施	8	8
⑨ 人事評価制度の実施	9	9
⑩ 特になし	10	10
⑪ その他〔 〕	11	11

問4-2. 貴事業所での職員の**育成**における課題は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 育成を行う時間的な余裕がない
2. 育成の費用を負担する余裕がない
3. 指導役となる職員が不足している
4. 研修等に参加させる人的余裕がない
5. 研修の情報収集や選定が難しい
6. 人事評価制度の実施や評価結果の活用が困難である
7. 事業所内の人材育成の計画や方針が明確でない
8. 特になし
9. その他〔 〕

問5-1. 貴事業所では、職員の**定着**状況についてどのように感じていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

※今回の調査では、3年以上勤務した場合を「定着」とします。

1. 定着している(離職は少ない) ⇒ 問5-3へ
2. 運営にも支障が出ないが定着している ⇒ 問5-3へ
3. あまり定着しておらず、運営にも支障が出ている ⇒ 問5-2へ
4. 定着しておらず、運営への影響が大きい ⇒ 問5-2へ

問5-2. 【問5-1で3. あまり定着しておらず、運営にも支障が出ている】、あるいは「4. 定着しておらず、運営への影響が大きい」と回答した事業所にお伺いします

定着率が低い離職率が高い主な原因はどこにあると考えていますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 賃金が低い等、給与・待遇の問題
2. 休み取りにくい、業務が多岐、勤務が不規則等、働き方や勤務形態の問題
3. 精神的にきつい、トラブルが多い等、仕事内容・労働環境の問題
4. 人間関係等、職場環境の問題
5. 資格取得の負担と処遇改善が合わない等、キャリアパスや将来展望、仕事のやりがいの問題
6. 施設が古く、設備環境も十分とは言えない等、職場の設備の問題
7. 福祉職の社会的なイメージの問題
8. その他〔 〕

問5-3. 貴事業所では、職員の**定着**のために、「(1)現在、実施している取組」は何ですか。また、「(2)実施したいが、できていない取組」は何ですか。(それぞれあてはまるもの全てに○)

取組	(1)現在、実施している取組	(2)実施したいが、できていない取組
① 賃金・労働時間等の労働条件の改善	1	1
② 能力や仕事ぶりの評価に伴う配置・処遇への反映	2	2
③ 仕事内容と必要な能力等の提示	3	3
④ OJTの実施	4	4
⑤ 新人の指導担当・アドバイザーの設置	5	5
⑥ 労働時間の希望を反映	6	6
⑦ 仕事内容の希望を反映	7	7
⑧ 悩み・不満などの相談窓口の設置	8	8
⑨ 定期的な面談の実施	9	9
⑩ 職場内のコミュニケーションの円滑化の実施	10	10
⑪ 特になし	11	11
⑫ その他〔 〕	12	12

問6. 福祉人材の確保・育成・定着に向けて区に望む支援施策は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 面談会・相談会の機会の設定
2. 福祉・介護の仕事の広報
3. 潜在有資格者の把握や求人紹介
4. 研修の充実
5. 区内福祉従事者同士の交流会
6. 区独自の人件費補助
7. その他〔 〕

問7. 貴事業所において、対応している障がい種別等は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 身体障がい
2. 知的障がい
3. 精神障がい
4. 障がい児
5. 難病
6. 発達障がい
7. 高次脳機能障がい(※1)
8. 強度行動障がい(※1)
9. 重度心身障がい(※2)
10. 医療的ケアが必要な方

※1「強度行動障がい」とは、自傷、他傷、こだわり、もの壊し、睡眠の乱れ、異食、多動など本人や周囲の人のくらしに影響を及ぼす行動が、著しく高い頻度で起こるため、特別に配慮された支援が必要になっている「状態」を指します。今回の調査では、「行動関連項目等の合計点数が10点以上である方」とします。

※2 今回の調査では「重度心身障がい」とは、「心身に特に重度の障がいがあるため、常時複雑な介護を必要とする方」とします。

## 2. 提供サービス

問8-1. 以下[A]～[G]について、以下の(1)(2)を教えてください。

- (1)現在、貴事業所が提供している障がい者(児)に対するサービスについて、①1日の定員数と、②平均的な1日の利用者数について教えてください。該当しないサービスは①②ともに「0」とご記入ください。  
 (2)今後3年間のサービスの提供の見込みを教えてください。(それぞれあてはまるもの1つだけ○)

### 【A】日中の活動の支援（通所）

サービス名	(1) 現状（ない場合は「0」と記載）		(2) 今後3年間のサービス提供の見込み
	①1日の定員数	②1日の利用者数	
生活介護	[ ]人/日	[ ]人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
療養介護	[ ]人/日	[ ]人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中

### 【B】自立のための訓練

サービス名	(1) 現状（ない場合は「0」と記載）		(2) 今後3年間のサービス提供の見込み
	①1日の定員数	②1日の利用者数	
自立訓練（機能訓練）	[ ]人/日	[ ]人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
自立訓練（生活訓練）	[ ]人/日	[ ]人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
宿泊型自立訓練	[ ]人/日	[ ]人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中

### 【C】働くための支援

サービス名	(1) 現状（ない場合は「0」と記載）		(2) 今後3年間のサービス提供の見込み
	①1日の定員数	②1日の利用者数	
就労移行支援	[ ]人/日	[ ]人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
就労継続支援（A型）	[ ]人/日	[ ]人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
就労継続支援（B型）	[ ]人/日	[ ]人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
就労定着支援	[ ]人/日	[ ]人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中

### 【D】住み場所の提供と支援

サービス名	(1) 現状（ない場合は「0」と記載）		(2) 今後3年間のサービス提供の見込み
	①1日の定員数	②1日の利用者数	
共同生活援助（グループホーム）	[ ]人/日	[ ]人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
施設入所支援	[ ]人/日	[ ]人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中

### 【E】一時預かり

サービス名	(1) 現状（ない場合は「0」と記載）		(2) 今後3年間のサービス提供の見込み
	①1日の定員数	②1日の利用者数	
短期入所	[ ]人/日	[ ]人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
日中一時支援	[ ]人/日	[ ]人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中

### 【F】障害児支援

サービス名	(1) 現状（ない場合は「0」と記載）		(2) 今後3年間のサービス提供の見込み
	①1日の定員数	②1日の利用者数	
児童発達支援	[ ]人/日	[ ]人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
放課後等デイサービス	[ ]人/日	[ ]人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
保育所等訪問支援	[ ]人/日	[ ]人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
居宅訪問型児童発達支援	[ ]人/日	[ ]人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
障害児相談支援	[ ]人/日	[ ]人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中

### 【G】その他

サービス名	(1) 現状（ない場合は「0」と記載）		(2) 今後3年間のサービス提供の見込み
	①1日の定員数	②1日の利用者数	
その他 [ ]	[ ]人/日	[ ]人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中

問8-2. 以下[H]～[L]について、以下の(1)(2)を教えてください。

- (1)現在、貴事業所でサービスを提供されていますか。(それぞれあてはまるもの1つだけ○)  
 (2)今後3年間のサービスの提供の見込みを教えてください。(それぞれあてはまるもの1つだけ○)

### 【H】自宅での生活支援（ホームヘルプ等）

サービス名	(1) 現状のサービス提供		(2) 今後3年間のサービス提供の見込み
	①あり	②なし	
居宅介護	1	2	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
重度訪問介護	1	2	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
重度障害者等包括支援	1	2	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
訪問入浴サービス	1	2	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中

【I】外出・避難のサポート

サービス名	(1) 現状のサービス提供		(2) 今後3年間のサービス提供の見込み	
	①あり	②なし	1. 拡大	2. 縮小
同行支援	1	2	1. 拡大	2. 縮小
行動支援	1	2	1. 拡大	2. 縮小
移動支援事業	1	2	1. 拡大	2. 縮小

【J】相談支援・サービス利用計画の作成

サービス名	(1) 現状のサービス提供		(2) 今後3年間のサービス提供の見込み	
	①あり	②なし	1. 拡大 <th>2. 縮小</th>	2. 縮小
相談支援事業	1	2	1. 拡大	2. 縮小
計画相談支援	1	2	1. 拡大	2. 縮小

【K】地域で生活するための支援

サービス名	(1) 現状のサービス提供		(2) 今後3年間のサービス提供の見込み	
	①あり	②なし	1. 拡大 <th>2. 縮小</th>	2. 縮小
自立生活援助	1	2	1. 拡大	2. 縮小
地域移行支援	1	2	1. 拡大	2. 縮小
地域定着支援	1	2	1. 拡大	2. 縮小

【L】その他

サービス名	(1) 現状のサービス提供		(2) 今後3年間のサービス提供の見込み	
	①あり	②なし	1. 拡大 <th>2. 縮小</th>	2. 縮小
その他	1	2	1. 拡大	2. 縮小

問9-1. 貴事業所では、現在提供しているサービスの質の向上のために、「(1)現在、実施している取組」は何ですか。また、「(2)実施したいが、できていない取組」は何ですか。(それぞれあてはまるもの全てに○)

取組	(1)現在、実施している取組	(2)実施したいが、できていない取組
	① 専門職の配置	1
② ピアサポート・職員の活用	2	2
③ 自主的に事業所内・法人内部で研修や勉強会の開催	3	3
④ 都や区、団体等が主催する外部研修に職員を派遣	4	4
⑤ ガイドラインやマニュアルを作成し、職員間で共有	5	5
⑥ ヒヤリ・ハット事例の収集や情報共有の実施	6	6
⑦ 利用者からの苦情を集め、検討し、職員間で共有するしくみの構築	7	7
⑧ 利用者への分かりやすい説明の徹底	8	8
⑨ ICT活用による、間接業務効率化の実施	9	9
⑩ 利用者やその家族へ満足度調査の実施	10	10
⑪ 事業所の取組や評価等についてホームページ等にて公開	11	11
⑫ 第三者機関からの評価の受審	12	12
⑬ 特になし	13	13
⑭ その他	14	14

問9-2. 【問9-1の(2)実施したいが、できていない理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○) 実施できていない理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 人材の確保や定着が難しく、質の向上を行う余裕がないから	)
2. 質の向上に必要な研修の参加や実施する時間的な余裕がないから	
3. 質の向上に必要な経費（研修・設備等）を確保できないから	
4. どのような取組が質の向上につながるかの情報が不足しているから	
5. サービスの質を客観的に評価する指標や手法が事業所内にないから	
6. 質の高いサービスを提供するための物理的なスペースや設備がないから	
7. 国・自治体の制度や基準が現場の実態に合っていないと感じるから	
8. その他	

問10. サービスの量的拡大に向けた課題はありますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 人材の確保や定着が難しく、サービスの量的拡大を行う余裕がない	)
2. サービスの量的拡大に必要な経費（研修・設備等）を確保できない	
3. 障害福祉サービス等の報酬が十分になく、サービスの量的拡大まで対応できない	
4. サービスの量的拡大を行うための、事業所スペースの確保ができない	
5. 利用者を確保することが難しい	
6. 特になし	
7. その他	

問11-1. 貴事業所では、「医療的ケア」に対応していますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 医療的ケア者に対応している	⇒ 問11-2、11-3ハ
2. 医療的ケア者に対応していない	⇒ 問12-1ハ
3. 現在対応していないが、今後検討する	⇒ 問12-1ハ
4. 現在対応しておらず、今後も対応の予定はない	⇒ 問12-1ハ

問11-2. 【問11-1で「1.医療的ケア者に対応している」、あるいは「2.医療的ケア者に対応していない」と回答した事業所にお伺いします】

対応している医療的ケアは何ですか。(あてはまるもの全てに○)	
1. 人工呼吸器管理	)
2. 気管切開・気管内挿管	
3. 鼻咽喉エアウェイ	
4. 酸素	
5. 痰吸引	
6. 吸入（ネブライザー）	
7. IVH（中心静脈栄養）	
8. 経管（経鼻・胃ろう含む）	
9. 腸ろう・腸管栄養	
10. 透析	
11. 導尿	
12. 人工肛門	
13. その他	

問11-3. 【問11-1で「1.医療的ケア者に対応している」、あるいは「2.医療的ケア者に対応していない」と回答した事業所にお伺いします】

貴事業所で医療的ケアを実施するにあたって、課題はありますか。(あてはまるもの全てに○)	
1. 医療事故発生時の対応	)
2. 医療的ケアに対応する人材（看護師等）の確保	
3. 緊急時における対応	
4. 医療的ケアに対応した施設、設備の充実	
5. 医療機関との連携	
6. 特になし	
7. その他	

問12-1. 貴事業所では、東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修修了者が在籍していますか。また、今後、貴事業所における東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修の受講予定はありますか。  
(あてはまるもの1つだけ○)

1. 受講した職員が在籍している ⇒ 問13-1ハ  
 2. 受講した職員は在籍していないが、今後受講する予定である ⇒ 問13-1ハ  
 3. 受講した職員は在籍しておらず、今後も受講する予定はない ⇒ 問12-2ハ  
 4. わからない ⇒ 問12-2ハ

問12-2. 問12-1で「3. 受講した職員は在籍しておらず、今後も受講する予定はない」とあるいは「4. わからない」と回答した事業所にお伺いします。

東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修の受講に前向きでない理由は何ですか。  
(あてはまるもの全てに○)

1. 相談支援専門員や、保健師、看護師などコーディネーターに適任な職員がいらないため  
 2. コーディネーターの配置に対する経済的なインセンティブが少ないため  
 3. 現状のサービス提供で医療的ケア児の支援がないため  
 4. 研修を受講する時間がないため  
 5. コーディネーターの役割や業務内容がよくわからないため  
 6. コーディネーターを配置すると、既存業務に支障をきたす懸念があるため  
 7. その他 [ ]

問13-1. 「強度行動障がい児・者」に対して、資格者や研修修了者がいる等、対応できる体制になっていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

1. 対応できる職員がいて、対応している  
 2. 対応できる職員はいるが、対応していない  
 3. 対応できる職員はいるが、今後対応したい  
 4. 対応できる職員はいるが、今後対応しない  
 5. その他 [ ]

問13-2. 貴事業者で、強度行動障がい児・者を対応するにあつての課題は何ですか。(下欄に記入)

[ ]

問14-1. 「重度心身障がい児・者」に対して、資格者や研修修了者がいる等、対応できる体制になっていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

1. 対応できる職員がいて、対応している  
 2. 対応できる職員はいるが、対応していない  
 3. 対応できる職員はいるが、今後対応したい  
 4. 対応できる職員はいるが、今後対応しない  
 5. その他 [ ]

問14-2. 貴事業者で、重度心身障がい児・者を対応するにあつての課題は何ですか。(下欄に記入)

[ ]

問15. 現在、精神障害者保健福祉手帳所持者が増加しているためお聞きします。貴事業所として精神障がい者の受け入れや対応にどのような課題がありますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 精神障がいに関する専門職・人材の不足  
 2. 職員の知識・経験不足  
 3. 受け入れ施設・体制の整備  
 4. 急な対応やトラウマ発時の対応体制  
 5. 医療・福祉・地域との連携  
 6. 精神障がい者に対する偏見や差別  
 7. 一人ひとりにへの配慮・個別対応  
 8. 利用者の相談内容の複雑化・多様化  
 9. 本人の意思決定支援  
 10. 特にな  
 11. サービスの対象ではない  
 12. その他 [ ]

問16-1. 次に挙げるような複合的な課題を抱えている等の困難事例について、利用者やその家族から相談を受けたことはありますか。相談を受けたことのある事例は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 障がいの重度化・重複化  
 2. 利用者本人の高齢化  
 3. 8050問題  
 4. 世帯の生活困窮  
 5. 借金  
 6. 日常的なお金の管理  
 7. アルコール等の依存症  
 8. 虐待・DV  
 9. ひきこもり  
 10. ひとり親家庭  
 11. 介助や支援を要する家族が複数いる  
 12. 子どもが主な介助者・支援者である  
 13. 外国籍の方の言葉や文化の違い  
 14. 相談を受けたことはない  
 15. その他 [ ]

問16-2. 【困難事例の相談を受けたことがある事業所(問16-1で「14. 相談を受けたことはない」以外に「○」に  
お伺いします。】

複合的な課題を抱えている等の困難事例の相談を受けたときに、現在どのような機関や団体と連携していますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 区・地域福祉課・地域健康課・さぼとびあ  
 2. 社会福祉協議会  
 3. 地域包括支援センター  
 4. 相談支援事業所  
 5. 他の障害福祉サービス提供事業所  
 6. 介護保険サービス事業所  
 7. 病院や訪問看護ステーション等の医療機関  
 8. 児童相談所  
 9. 障がい当事者団体  
 10. 家族会  
 11. 依存症支援機関・団体  
 12. 弁護士・司法書士  
 13. どことも連携せずに事業所のみで対応  
 14. その他 [ ]

問17. 今後、複合的な課題を抱えている等の困難事例の相談を受けることを想定した場合、どのような機関や団体と連携したいと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 区・地域福祉課・地域健康課・さぼとびあ  
 2. 社会福祉協議会  
 3. 地域包括支援センター  
 4. 相談支援事業所  
 5. 他の障害福祉サービス提供事業所  
 6. 介護保険サービス事業所  
 7. 病院や訪問看護ステーション等の医療機関  
 8. 児童相談所  
 9. 障がい当事者団体  
 10. 家族会  
 11. 依存症支援機関・団体  
 12. 弁護士・司法書士  
 13. どことも連携せずに事業所のみで対応  
 14. その他 [ ]

問18. 貴事業所では、他事業所・他団体との連携をはじめ、複合的な課題を抱えている等の困難事例に対する相談体制の強化に向けて、どのようなことが必要ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 区との連携促進  
 2. 区による連携促進に向けたコーディネート  
 3. 相談窓口の設置・整理  
 4. 他分野の理解促進  
 5. 関係機関との関係構築・情報共有  
 6. 障がい福祉サービス事業所間の連携促進  
 7. 人材確保  
 8. 職員のスキルアップ  
 9. 報酬や補助金の見直し  
 10. 特にな  
 11. その他 [ ]

問19. 貴事業所では、利用者の意思決定を支援する取組をしていますか。(あてはまるものを全てに○)

1. 意思決定支援責任者の配置
2. 意思決定に必要な情報提供方法を工夫
3. 意思決定支援会議の実施
4. 意思決定支援を反映したサービス提供の結果のモニタリング・評価・見直し
5. 意思決定支援の根拠となる記録等の作成
6. 意思決定支援のガイドラインを活用した研修や、事例検討などの実施
7. 特に行っていない
8. その他 ( )

問20-1. 貴事業所は、介護保険サービスの指定を受けていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

1. 受けている
2. 受けていない

問20-2. 介護保険サービスの指定を受けている事業所は、サービスを提供する上での課題を、介護保険サービスの指定を受けていない事業所は、利用者が障害福祉サービスから介護保険サービスへ切り替わる際の課題等があれば教えてください。(下欄に記入)

### 3. 事業運営の概要

問21. 貴事業所が事業を運営する上での主な課題は何ですか。(あてはまるものを3つまで○)

1. 新規利用者の獲得が困難
2. 利用者の多様なニーズに応えられない
3. 利用者からの苦情や事故への対応が難しい
4. 事務作業量が多い
5. 人材確保が困難
6. 人材の定着が困難
7. 人材育成が困難
8. 責任者など中堅人材の確保・育成が困難
9. 人件費が高い
10. 運営・運転資金の確保が困難
11. 事業所の家賃が高く、確保・維持が困難
12. 近隣住民からの理解を得るのが困難
13. 他のサービス事業所との競合が激しい
14. 報酬単価が低い
15. 特に課題はない
16. その他 ( )

問22-1. 昨年度に比べて、貴事業所における新規のサービス提供依頼者数の動向を教えてください。(あてはまるものを1つだけ○)

1. かなり増えている ⇒ 問22-2ハ
2. 増えてきている ⇒ 問22-2ハ
3. 変わらない ⇒ 問23ハ
4. 減っている ⇒ 問23ハ
5. かなり減っている ⇒ 問23ハ
6. わからない ⇒ 問23ハ

問22-2. 【問22-1で、「1. かなり増えている」「2. 増えている」と回答した事業所にお伺いします】サービス提供依頼者数の増加に対応できていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

1. 対応できている ⇒ 問23ハ
2. 対応できていない ⇒ 問22-3ハ

問22-3. 【問22-2で「2. 対応できていない」と回答した事業所にお伺いします】対応できていない理由は何ですか。(あてはまるものを全てに○)

1. 職員の数が増え足りないため
2. 職員やサービスの質が担保できないため
3. 施設が受入可能な定員を超えているため
4. サービスを拡張するための資金や場所がないため
5. その他 ( )

問23. 利用者や家族から貴事業所に寄せられる苦情はどのようなものですか。(あてはまるものを3つまで○)

1. サービスの質や内容に関すること
2. 職員の態度や言葉づかい等に関すること
3. 職員の介護技術等に関すること
4. サービス提供にかかる他機関との連携等に関すること
5. サービス利用等の手続きに関すること
6. 制度やサービスの説明に関すること
7. 事故やその後の対応に関すること
8. 重要事項説明や契約に関すること
9. 情報管理に関すること
10. 利用料に関すること
11. 特に苦情はない
12. その他 ( )

問24-1 利用者やその家族からの対応において、ハラスメント(※)と思われるケースはありますか。(あてはまるもの1つだけ○)

※ 本調査でのハラスメントとは、「身体的暴力(身体的な力を使って危害を及ぼす行為)」「精神的暴力(個人の尊厳や人格を言葉や態度によって傷つけたり、おとしめたりする行為)」及び「セクシュアルハラスメント(嫌に浴びない性的誘いかけ、好意的態度の要求等、性的ないやがらせ行為)」を合わせたものとし、

1. ある      2. ない      3. わからない(把握していない)

問24-2 利用者やその家族からのハラスメントに対してどのような対策や対応を行っていますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 施設・事業所の基本方針や対応マニュアルを作成し、職員に周知している
2. 契約書、重要事項説明書等に、ハラスメントによるサービス提供中止、解除の可能性について記載・説明している
3. 相談窓口を設置するなど、相談しやすい職場環境づくりをしている
4. 特定の職員に負担が集中しないようローテーション勤務等を整備している
5. ハラスメント対応の研修(言われたときの対処法、記録の取り方など)を実施している
6. ハラスメントをうけた当該職員と面談し、必要に応じて心のケアや配置換え等の対応を行う
7. 必要に応じて、利用者やその家族と事実確認や改善要請を行う
8. 関係機関(行政、地域包括支援センター、ケアマネジャー、弁護士、医師等)への相談や連携を行う
9. 特に取り組んでいない
10. その他 ( )

問24-3 利用者やその家族からのハラスメント対策として、区に実施してほしいことはありますか。(あてはまるもの全てに○)

1. ハラスメント研修・セミナーの開催
2. マニュアル・ガイドラインの配布
3. ハラスメント相談窓口の設置
4. 自治体としての啓発活動の推進
5. 特にない
6. その他 ( )

問25 貴事業所では、災害発生時に備えた対策を講じていますか。(あてはまるもの全てに○)

1. BCP(業務継続計画)の策定
2. BCPの定期的な見直し
3. 災害時の対応マニュアルの整備
4. 施設の耐震対策など、建物の被害を抑える取組の実施
5. 非常用備蓄(食料・水・医薬品・衛生用品などの確保)
6. ライフライン(電気、ガス、水道等)が止まった場合の対策の構築
7. 災害発生時等の緊急連絡体制の構築
8. 利用者の安否確認方法の構築
9. ハザードマップや周辺事情の把握
10. 災害対策や感染症知識向上のための研修の実施
11. 定期的に事業所内の避難訓練・防災訓練を職員で実施
12. 事業所内の避難訓練・防災訓練に利用者も参加
13. 定期的に地域の避難訓練・防災訓練に参加
14. いずれも十分にできていない
15. その他 ( )

#### 4. 権利擁護

問26 現在、虐待防止のために取組んでいる取組はありますか。ある場合は、その効果について、1～3の該当するものに○をつけてください。

取組	(1)効果が出ている	(2)まだ改善の余地がある	(3)効果が感じられない
① 事業所内・法人内部で虐待防止研修の開催	1	2	3
② 虐待防止委員会の定期的な開催と検討結果の周知	1	2	3
③ 虐待防止マニュアル・チェックリストを作成し、職員間で共有	1	2	3
④ 虐待防止に関する意識・関心を高めるための掲示物等を掲示	1	2	3
⑤ メンタルヘルスの観点から風通しのよい職場づくりを推進	1	2	3
⑥ 障害特性の理解と支援技術等を高めるための研修等の開催	1	2	3
⑦ 特にない	1	2	3
⑧ その他 ( )	1	2	3

問27 虐待を受けたと思われる障がい児・者を発見した場合の通報先を把握していますか。(あてはまるもの1つだけ○)

1. 把握している      2. 把握していない

問28 これまでに貴事業所から通報したことはありますか。ある場合、該当するものを教えてください。(あてはまるもの全てに○)

1. 貴事業所内での内容
2. 利用者の家庭内での内容
3. 他事業所内での内容
4. ない

問29 「障害者差別解消法」等により、「合理的配慮」の提供が、事業者にも義務化されています。貴事業所は、どのような取組をしていますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 事業所内で職員向けに研修を実施している
2. 都が実施している研修に参加している
3. 利用する障がい児・者に対して適切な対応ができるようマニュアルを作成している
4. 利用する障がい児・者から申出があった際は、話し合いの場を設けている
5. 利用する障がい児・者から申出のあった配慮が難しい場合は、区の障害福祉課等に相談する
6. 特に取り組んでいない
7. その他 ( )

## 5. 障がい者総合サポートセンター（さぼーとびあ）との連携について

問30-1. 貴事業所において、連携・活用したことがある「障がい者総合サポートセンター さぼーとびあ」の部門・事業はありますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 相談支援部門（障がいのある方の総合相談窓口）
2. 地域交流支援部門（余暇活動、戸の図書室）
3. 就労支援部門（就労移行支援事業、定着支援、たまりば）
4. 居宅支援部門（自立訓練（機能・生活））
5. 人材育成事業（福祉従事者への研修の案内）
6. 施設の貸出し（多目的室と集会室の利用方法）
7. 意思疎通支援事業（手話通訳等派遣及び手話講習会案内）
8. 短期入所事業（重症心身障がい児（者）の方などの短期入所）
9. 発達障がい、支援事業（学齢期の発達障がい児の相談、療育）
10. 特に連携している部門・事業はない ⇒ 問30-2へ

問30-2. 【問 30-1 で「0. 特に連携していない部門・事業はない」と回答した事業所にお伺いします】

特に連携していない理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 自事業所内・自法人内で対応可能なため
2. 他法人の事業所と連携して対応しているため
3. さぼーとびあと連携する必要がある事象が発生したことがないため
4. さぼーとびあとの機能を知らなかったため
5. その他（ ）

問31. 「障がい者総合サポートセンター さぼーとびあ」と連携する際の課題はありますか。(あてはまるもの全てに○)

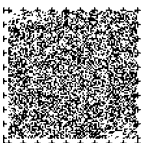
1. 連携したい部門・事業との交流がない
2. 連携したい部門・事業の業務に関する知識が乏しく、連絡しづらい
3. 情報共有に時間を要する
4. 必要時に連絡が取れない
5. 情報のとらえ方に温度差がある
6. 特に課題はない
7. その他（ ）

## 6. 大田区の障がい施策について

問32. 区の障がい施策について、ご意見などがございましたらご自由に記入ください。(下欄に記入)

調査は以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に封入の上、**2025年11月30日(日)**までにご返函ください。



令和7年度  
大田区障がい者実態調査結果報告書

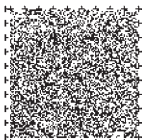
発行年月 令和8年3月

発行 大田区 福祉部 障害福祉課

〒144-8621 大田区蒲田 5-3-14

電話番号 03-5744-1700

FAX 番号 03-5744-1592





大田区